

# 岩沼市国民健康保険 第3期データヘルス計画

令和7年2月  
岩沼市



# はじめに

厚生労働省が令和元年に策定した「健康寿命延伸プラン」においては、令和22年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し(平成28年比)、75歳以上とすることを目指すとしている。またそのためには、「次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成」、「疾病予防・重症化予防」、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の3分野を中心に取り組みを推進することとある。健康寿命の延伸は社会全体の課題であるが、目標達成に向けては地域の特性や現状を踏まえた健康施策の検討・推進が必要不可欠であり、目標達成に向けて地方自治体が担う役割は大きくなっている。

また、令和2年から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、国内でも感染が拡大し、価値観や生活様式等が大きく変化した。健康・医療分野においては、コロナ禍の中で全国的に健(検)診や医療機関の受診控えがみられ、健(検)診受診率、医療費の動向及び疾病構造等に影響が出た。一方、コロナ禍をきっかけとして、オンライン診療やオンライン服薬指導、ICTを活用した保健指導等の支援サービスの普及が加速度的に進むなど、現在は大きな転換期にある。

岩沼市国民健康保険においては、「データヘルス計画」(第1期～第2期)及び「特定健康診査等実施計画」(第1期～第3期)を策定し、計画に定める保健事業を推進してきた。「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としている。このたび令和5年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定する。

## 計画書の構成

		目的	根拠法令
第1部	第3期データヘルス計画	健康・医療情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施計画を定め、実施及び評価を行う。	国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)
第2部	第4期特定健康診査等実施計画	特定健康診査等基本指針(厚生労働省告示)に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定める。	高齢者の医療の確保に関する法律第19条

# 第1章 計画策定について

## 1. 計画の趣旨

### (1) 背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられた。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められた。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI※の設定を推進するとの方針が示された。このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められている。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられる。本計画は、第1期及び第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものである。計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携を強化し、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとする。

※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。

### (2) 計画の位置づけ

保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものである。

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を基本的な方向とするとともに、関連する他計画(健康増進計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画)と調和のとれた内容とする。本計画において推進・強化する取り組み等については他計画の関連事項・関連目標を踏まえて検討し、関係者等に共有し、理解を図るものとする。

## 2. 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とする。

## 3. 実施体制・関係者連携

### (1) 保険者内の連携体制の確保

岩沼市国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生部局等の関係部局や県、保健所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て、国保担当部局が主体となって行う。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、後期高齢者医療部局や介護保険部局、生活保護部局(福祉事務所等)等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。

国保部局は、研修等による職員の資質向上に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保する。

### (2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるためには、関係機関との連携・協力が重要となる。共同保険者である宮城県のほか、国民健康保険団体連合会や連合会内に設置される支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等、保険者協議会、後期高齢者医療広域連合、健康保険組合等の他の医療保険者、地域の医療機関や大学等の社会資源等と健康課題を共有し、連携強化に努める。

また、計画は、被保険者の健康保持増進が最終的な目標であり、被保険者自身が主体的、積極的に健康づくりに取り組むことが重要であることから、自治会等の地域組織との意見交換や情報提供の場の設置、被保険者向けの説明会の実施等、被保険者が議論に参画できる体制を構築し、被保険者の意見反映に努める。

## 4. データ分析期間

### ■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

#### 単年分析

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

#### 年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月診療分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

### ■健康診査データ

#### 単年分析

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

#### 年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

### ■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

### ■介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

#### 単年分析

令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

#### 年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月分(12カ月分)

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

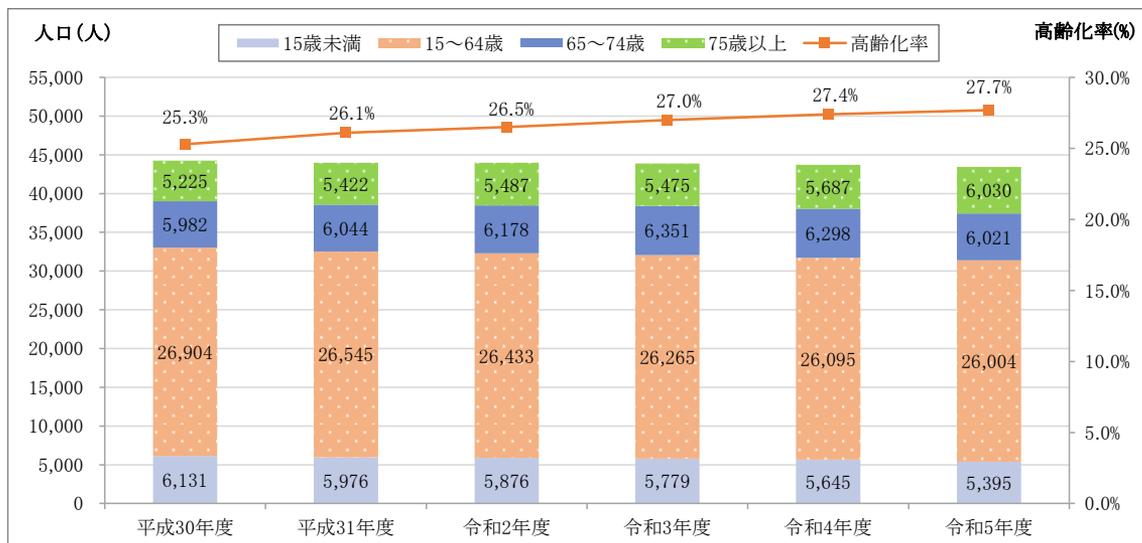
# 第2章 岩沼市の概況

## 1. 基本情報

### (1) 人口の推移及び高齢化率の推移

住民基本台帳による平成30年以降の総人口及び世帯数の推移をみると、総人口は平成30年以降、減少推移にあり、令和5年9月末現在の総人口は43,450人となっている。

年齢構成をみると、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少する一方で、高齢者人口（65歳以上）は増加し続けており、特に75歳以上の後期高齢者人口が増加している。



出典:住民基本台帳人口

### (2) 世帯数と一世帯当たりの人員

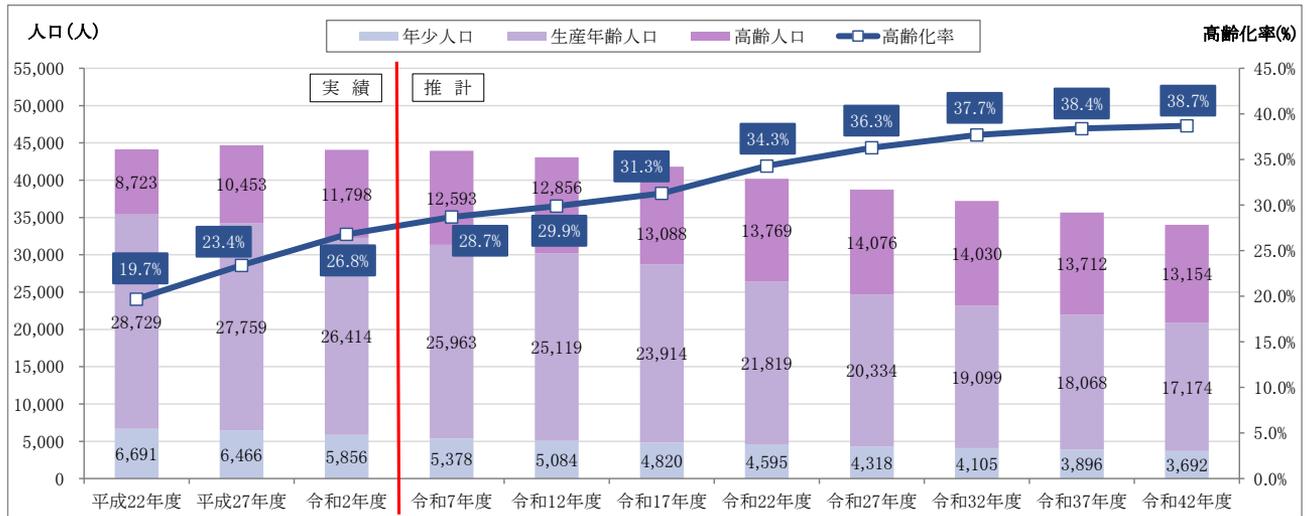
世帯数は毎年増加しており、令和5年では18,849世帯となっている。1世帯当たり人員は年々少なくなっており、令和5年には一世帯当たり2.31人まで低下している。



出典:住民基本台帳

### (3) 人口の将来推計

国勢調査では、平成27年まで増加傾向にあったが、令和2年には約600人の減少となり、今後も減少傾向は続く予想される。



出典：平成22年度～平成27年度 総務省「国勢調査」  
令和2年度～令和42年度 第2期岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 2. 人口構成

以下は、本市の令和4年度における人口構成概要を示したものである。高齢化率(65歳以上)は26.9%であり、県との比較ではほぼ等倍、同規模との比較で0.7倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は7,872人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は18.0%である。国民健康保険被保険者平均年齢は56.5歳である。

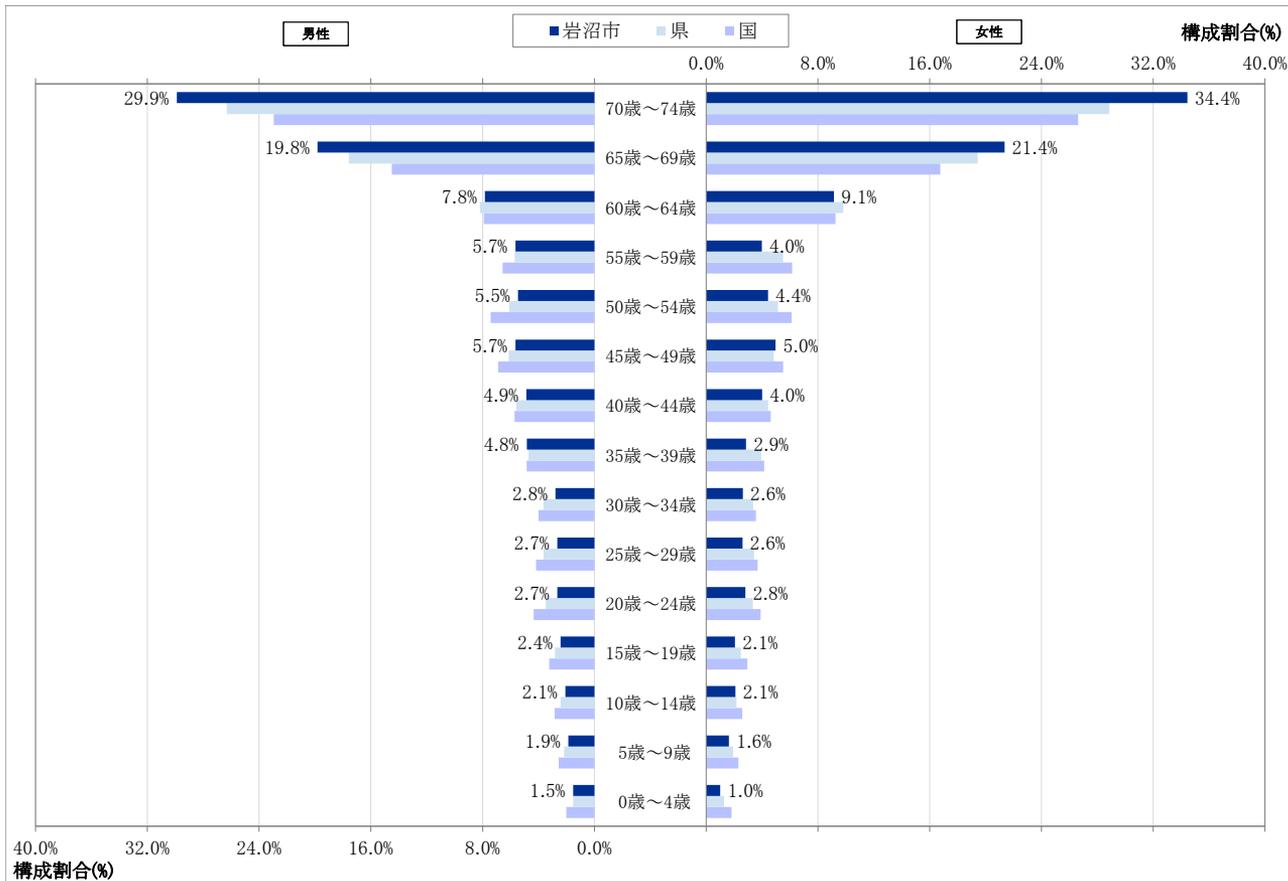
### 人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
岩沼市	43,660	26.9%	7,872	18.0%	56.5	7.4	10.1
県	2,254,257	28.3%	460,898	20.4%	54.1	6.4	10.9
同規模	32,195	36.2%	7,214	22.4%	56.1	5.5	15.1
国	123,214,261	28.7%	27,488,882	22.3%	51.9	6.8	11.1

※「県」は宮城県を指す。以下全ての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

### 3. 被保険者数の推移

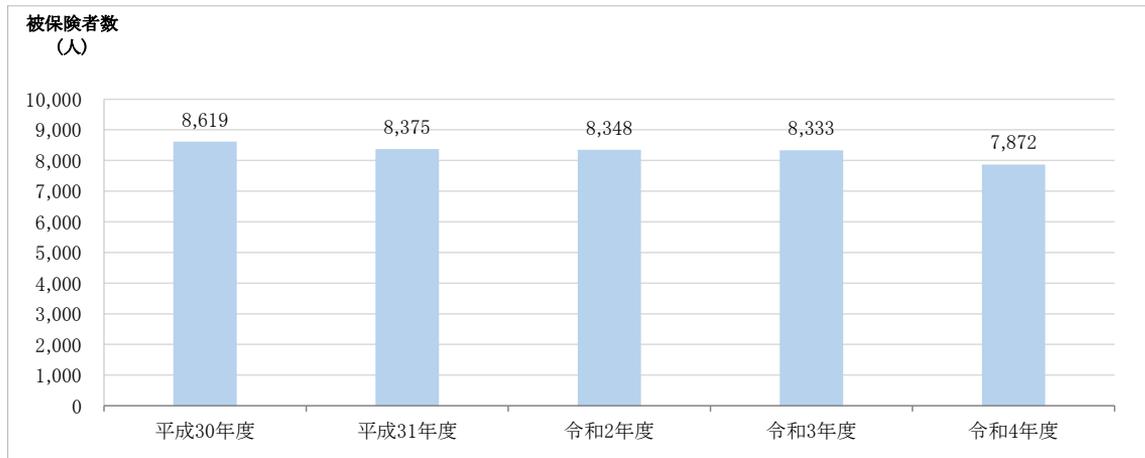
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、人口構成概要を年度別に示したものである。令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数7,872人は平成30年度8,619人より747人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢56.5歳は平成30年度54.9歳より1.6歳上昇している。

#### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)
岩沼市	平成30年度	44,242	25.3%	8,619	19.5%	54.9
	平成31年度	43,987	26.1%	8,375	19.0%	55.3
	令和2年度	43,974	26.5%	8,348	19.0%	56.0
	令和3年度	43,870	27.0%	8,333	19.0%	56.3
	令和4年度	43,725	27.4%	7,872	18.0%	56.5

出典：住民基本台帳人口及び国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### 年度別 被保険者数



出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものである。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成30年度			平成31年度			令和2年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	135	68	67	106	55	51	103	54	49
5歳～9歳	163	82	81	165	90	75	155	81	74
10歳～14歳	194	107	87	185	95	90	178	94	84
15歳～19歳	218	113	105	234	126	108	202	103	99
20歳～24歳	245	113	132	216	111	105	231	115	116
25歳～29歳	242	114	128	216	108	108	208	107	101
30歳～34歳	275	156	119	274	154	120	268	150	118
35歳～39歳	356	187	169	318	170	148	305	171	134
40歳～44歳	418	217	201	402	224	178	381	208	173
45歳～49歳	433	227	206	426	208	218	441	219	222
50歳～54歳	362	199	163	365	201	164	383	198	185
55歳～59歳	445	222	223	428	209	219	407	213	194
60歳～64歳	925	399	526	827	351	476	751	321	430
65歳～69歳	2,180	972	1,208	1,991	898	1,093	1,877	864	1,013
70歳～74歳	2,028	934	1,094	2,222	1,010	1,212	2,458	1,104	1,354
合計	8,619	4,110	4,509	8,375	4,010	4,365	8,348	4,002	4,346

年齢階層	令和3年度			令和4年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	116	68	48	99	58	41
5歳～9歳	147	73	74	137	71	66
10歳～14歳	163	83	80	164	79	85
15歳～19歳	184	92	92	176	92	84
20歳～24歳	239	122	117	215	101	114
25歳～29歳	220	104	116	207	101	106
30歳～34歳	234	130	104	213	106	107
35歳～39歳	320	185	135	300	184	116
40歳～44歳	360	185	175	348	185	163
45歳～49歳	468	237	231	417	215	202
50歳～54歳	398	205	193	388	208	180
55歳～59歳	379	210	169	377	215	162
60歳～64歳	686	293	393	670	298	372
65歳～69歳	1,788	813	975	1,623	754	869
70歳～74歳	2,631	1,194	1,437	2,538	1,137	1,401
合計	8,333	3,994	4,339	7,872	3,804	4,068

出典：国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」

## 4. 医療基礎情報

以下は、本市の令和4年度における、医療基礎情報を示したものである。

### 医療基礎情報(令和4年度)

医療項目	岩沼市	県	同規模	国
受診率	841.4	761.0	751.9	705.4
一件当たり医療費(円)	38,450	38,930	42,450	39,080
一般(円)	38,450	38,930	42,450	39,080
退職(円)	0	53,360	69,760	67,230
外来				
外来費用の割合	60.5%	61.3%	56.7%	60.4%
外来受診率	820.5	742.1	728.3	687.8
一件当たり医療費(円)	23,850	24,460	24,850	24,220
一人当たり医療費(円) ※	19,570	18,150	18,100	16,660
一日当たり医療費(円)	16,500	17,410	16,990	16,390
一件当たり受診回数	1.4	1.4	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	39.5%	38.7%	43.3%	39.6%
入院率	20.9	19.0	23.6	17.7
一件当たり医療費(円)	611,460	604,740	585,610	617,950
一人当たり医療費(円) ※	12,780	11,480	13,820	10,920
一日当たり医療費(円)	37,510	39,180	34,310	39,370
一件当たり在院日数	16.3	15.4	17.1	15.7

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※一人当たり医療費…1カ月分相当。

## 5. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

### (1) 特定健康診査

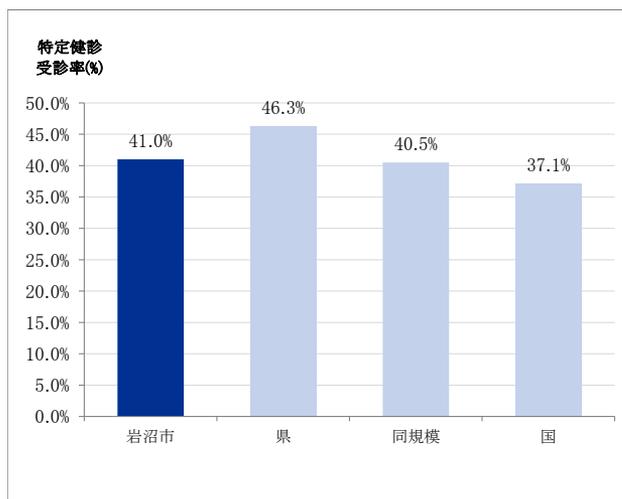
本市の令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率は以下のとおりである。

#### 特定健康診査受診率(令和4年度)

区分	特定健診受診率
<b>岩沼市</b>	<b>41.0%</b>
県	46.3%
同規模	40.5%
国	37.1%

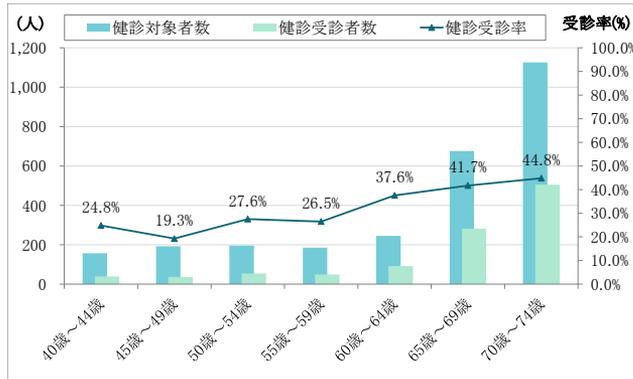
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### 特定健康診査受診率(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### (男性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### (女性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



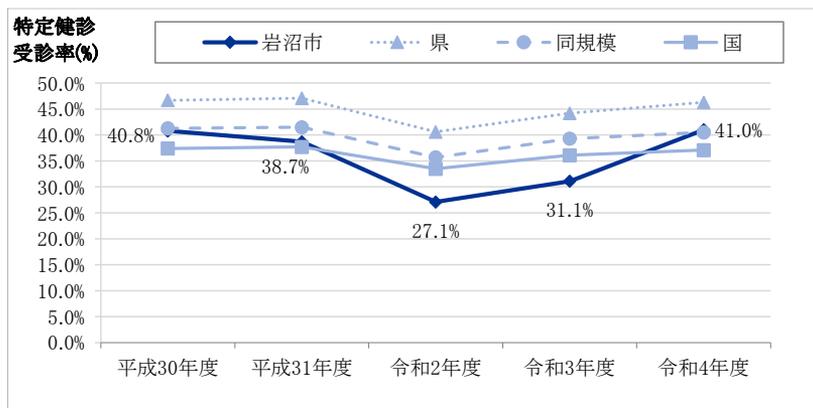
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものである。令和4年度の特定健康診査受診率41.0%は平成30年度40.8%より0.2ポイント増加している。

### 年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岩沼市	40.8%	38.7%	27.1%	31.1%	41.0%
県	46.7%	47.1%	40.6%	44.2%	46.3%
同規模	41.3%	41.5%	35.7%	39.3%	40.5%
国	37.4%	37.7%	33.5%	36.1%	37.1%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

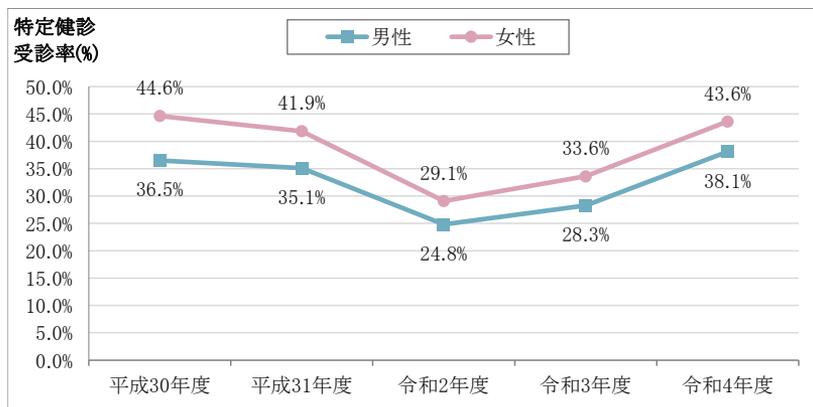
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率38.1%は平成30年度36.5%より1.6ポイント増加しており、女性の令和4年度受診率43.6%は平成30年度44.6%より1.0ポイント減少している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2) 特定保健指導

本市の令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりである。

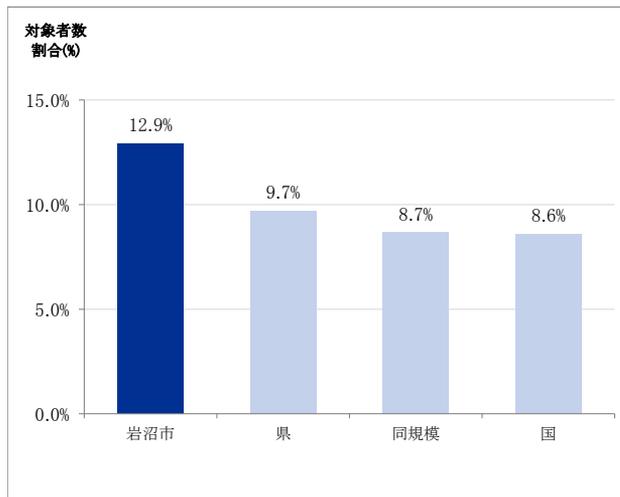
### 特定保健指導実施状況(令和4年度)

区分	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
岩沼市	12.9%	4.2%	17.1%	43.1%
県	9.7%	3.5%	13.2%	14.6%
同規模	8.7%	2.7%	11.3%	26.0%
国	8.6%	3.3%	11.8%	13.4%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
 特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

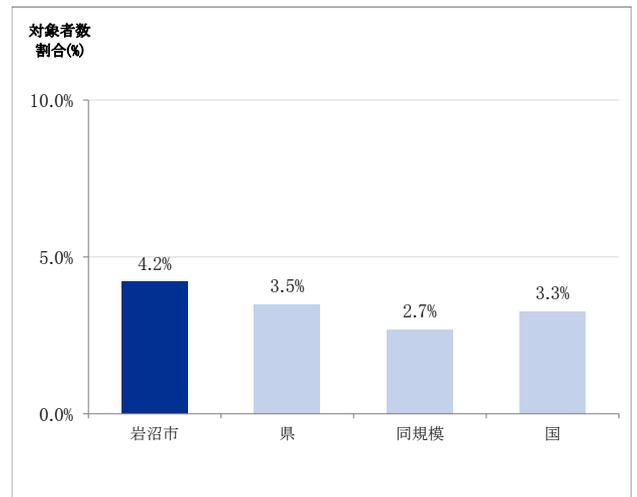
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(令和4年度)



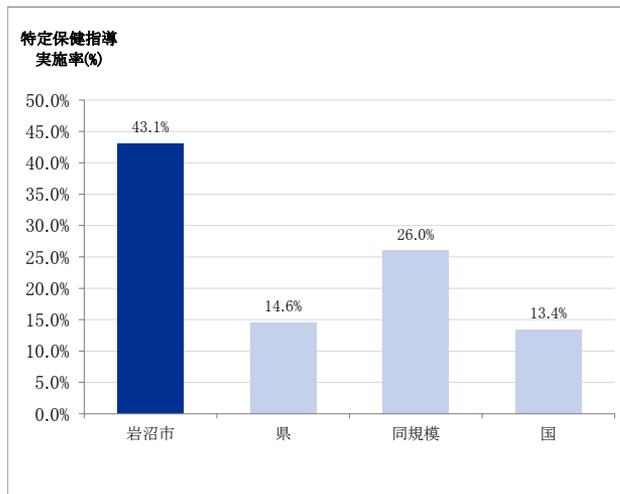
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別  
に示したものである。令和4年度の特定保健指導実施率43.1%は平成30年度26.5%より16.6  
ポイント増加している。

### 年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>岩沼市</b>	<b>13.6%</b>	<b>13.3%</b>	<b>14.7%</b>	<b>13.0%</b>	<b>12.9%</b>
県	10.3%	10.3%	10.6%	10.0%	9.7%
同規模	9.2%	9.1%	9.0%	9.0%	8.7%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

### 年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>岩沼市</b>	<b>4.3%</b>	<b>4.1%</b>	<b>3.7%</b>	<b>3.3%</b>	<b>4.2%</b>
県	3.6%	3.6%	3.6%	3.7%	3.5%
同規模	2.9%	2.8%	2.6%	2.7%	2.7%
国	2.7%	3.2%	3.2%	3.3%	3.3%

### 年度別 支援対象者数割合

区分	支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>岩沼市</b>	<b>17.9%</b>	<b>17.4%</b>	<b>18.4%</b>	<b>16.4%</b>	<b>17.1%</b>
県	13.9%	14.0%	14.2%	13.7%	13.2%
同規模	12.0%	11.9%	11.6%	11.7%	11.3%
国	11.8%	12.1%	12.2%	12.2%	11.8%

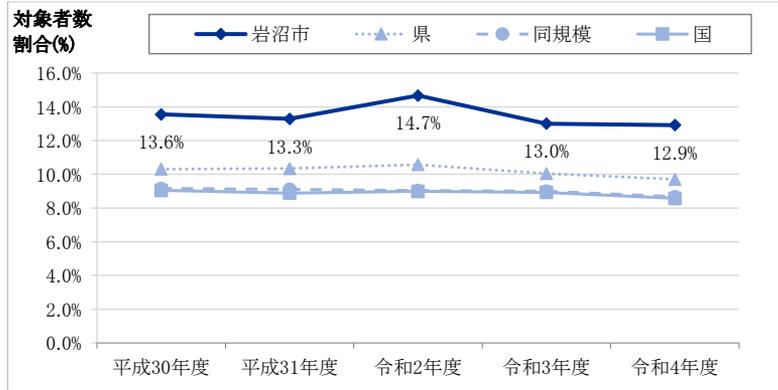
### 年度別 特定保健指導実施率

区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>岩沼市</b>	<b>26.5%</b>	<b>34.7%</b>	<b>46.5%</b>	<b>52.0%</b>	<b>43.1%</b>
県	18.1%	18.8%	19.3%	20.6%	14.6%
同規模	41.3%	41.8%	41.8%	41.8%	26.0%
国	25.8%	24.2%	23.8%	24.0%	13.4%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
特定保健指導実施率(令和4年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

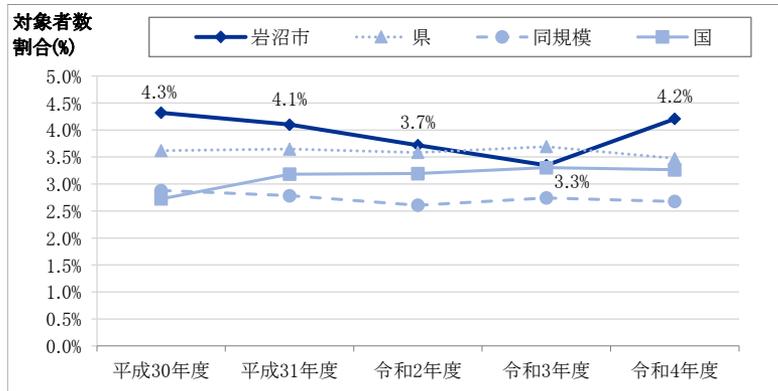
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 動機付け支援対象者数割合



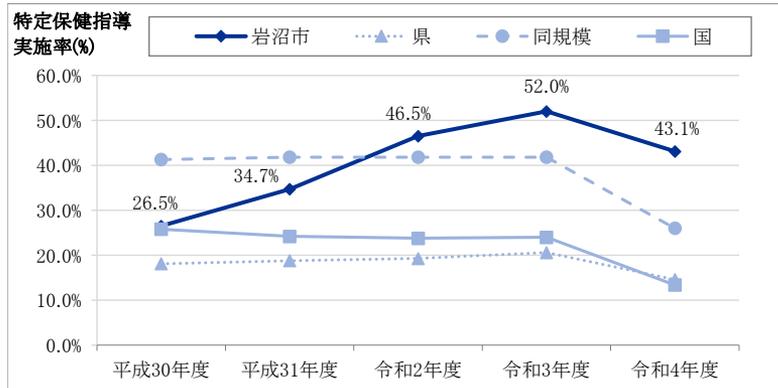
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 特定保健指導実施率



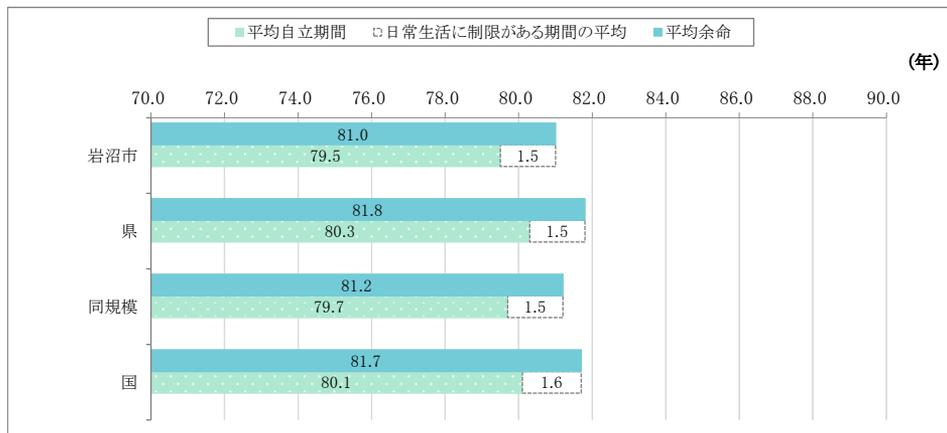
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

## 6. 平均余命と平均自立期間

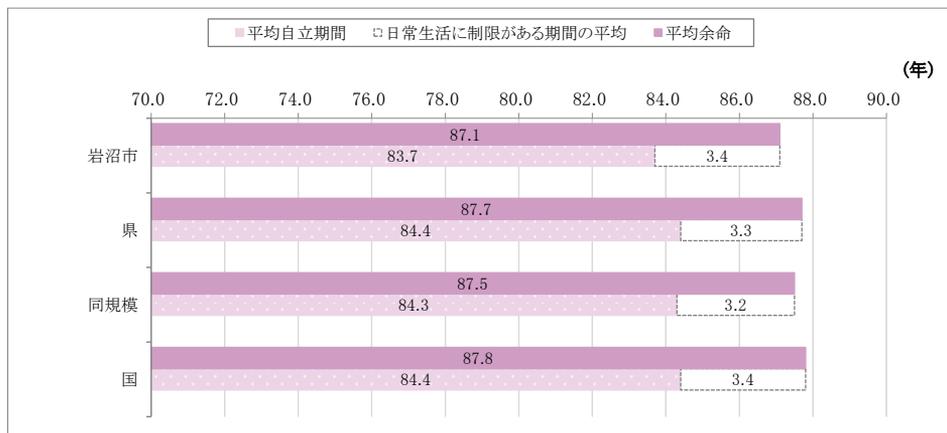
以下は、令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。平均余命は、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示している。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つである。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味している。

本市の男性の平均余命は81.0年、平均自立期間は79.5年である。日常生活に制限がある期間の平均は1.5年で、国の1.6年よりも短い傾向にある。本市の女性の平均余命は87.1年、平均自立期間は83.7年である。日常生活に制限がある期間の平均は3.4年で、国の3.4年から横ばい傾向にある。

(男性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



(女性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【参考】平均余命と平均自立期間について



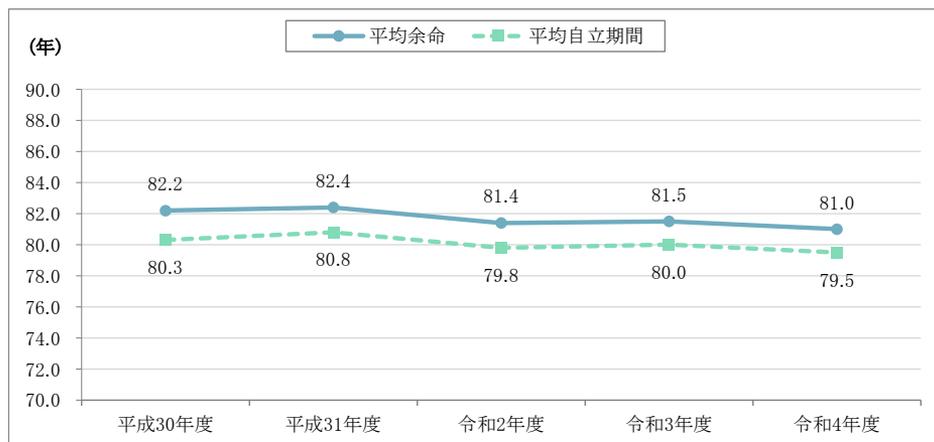
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。男性における令和4年度の平均自立期間79.5年は平成30年度80.3年から0.8年短縮している。女性における令和4年度の平均自立期間83.7年は平成30年度84.0年から0.3年短縮している。

### 年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

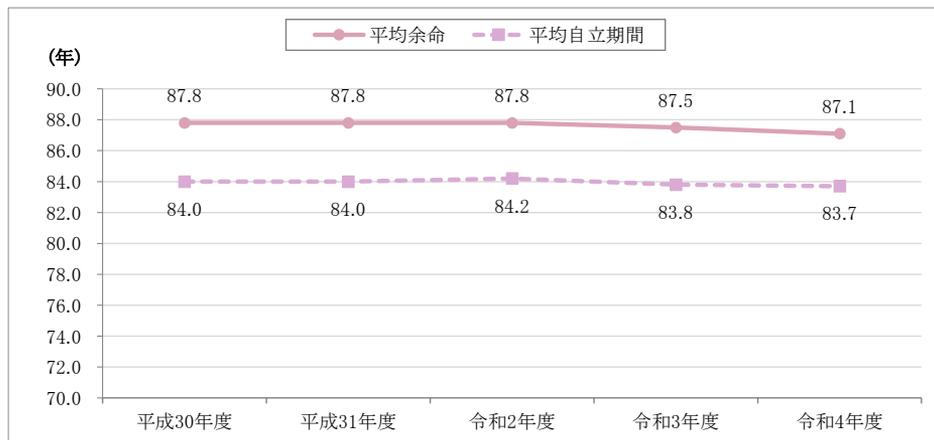
年度	男性			女性		
	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)
平成30年度	82.2	80.3	1.9	87.8	84.0	3.8
平成31年度	82.4	80.8	1.6	87.8	84.0	3.8
令和2年度	81.4	79.8	1.6	87.8	84.2	3.6
令和3年度	81.5	80.0	1.5	87.5	83.8	3.7
令和4年度	81.0	79.5	1.5	87.1	83.7	3.4

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (男性)年度別 平均余命と平均自立期間



### (女性)年度別 平均余命と平均自立期間



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 7. 介護保険の状況

### (1) 要介護(支援)認定状況

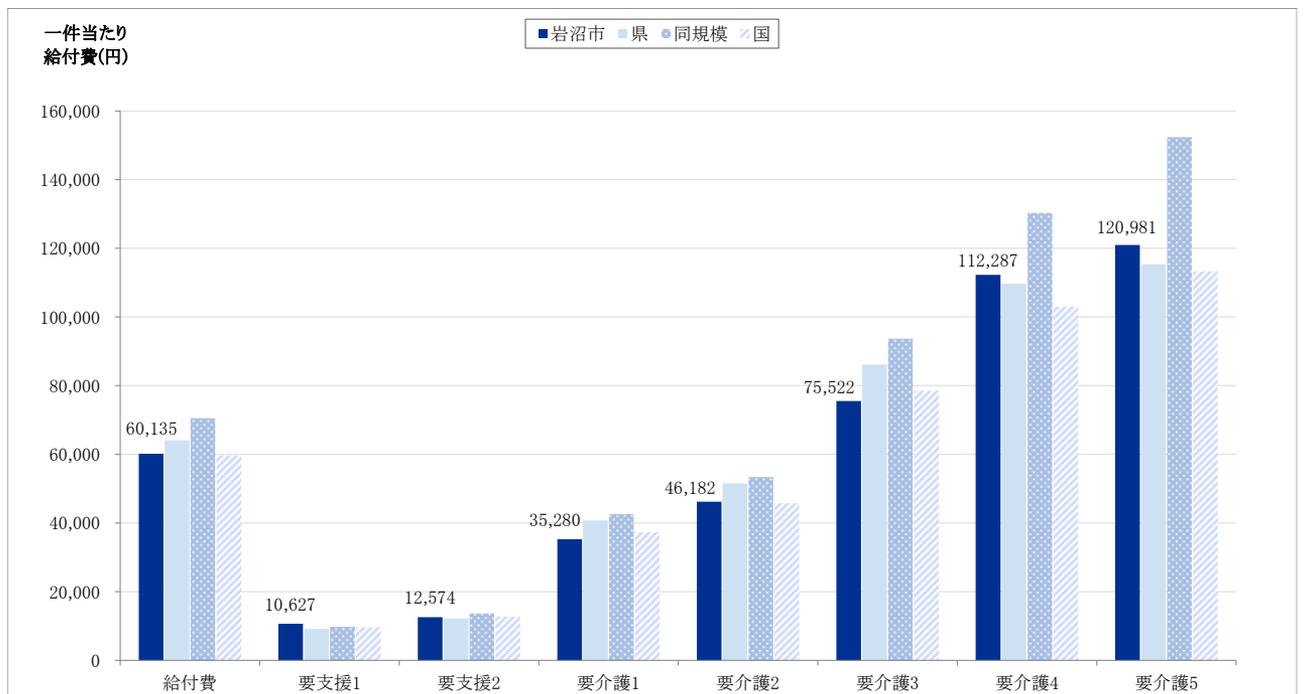
以下は、本市の令和4年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものである。

#### 要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

区分	岩沼市	県	同規模	国
認定率	<b>18.3%</b>	19.3%	19.1%	19.4%
認定者数(人)	<b>2,209</b>	126,301	630,569	6,880,137
第1号(65歳以上)	<b>2,152</b>	123,353	619,810	6,724,030
第2号(40～64歳)	<b>57</b>	2,948	10,759	156,107
一件当たり給付費(円)				
給付費	<b>60,135</b>	64,123	70,503	59,662
要支援1	<b>10,627</b>	9,146	9,733	9,568
要支援2	<b>12,574</b>	12,176	13,649	12,723
要介護1	<b>35,280</b>	40,765	42,595	37,331
要介護2	<b>46,182</b>	51,519	53,391	45,837
要介護3	<b>75,522</b>	86,141	93,678	78,504
要介護4	<b>112,287</b>	109,645	130,313	103,025
要介護5	<b>120,981</b>	115,408	152,364	113,314

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

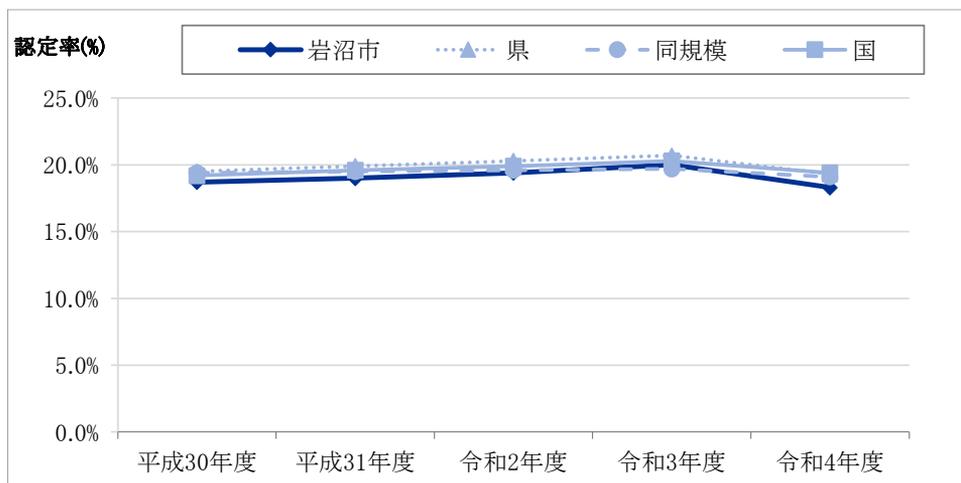
以下は、平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定率及び認定者数を年度別に示したものである。令和4年度認定率18.3%は平成30年度18.7%より0.4ポイント減少しており、令和4年度の認定者数2,209人は平成30年度1,998人より211人増加している。

### 年度別 要介護(支援)認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
岩沼市	平成30年度	18.7%	1,998	1,949	49
	平成31年度	19.0%	2,043	1,992	51
	令和2年度	19.4%	2,101	2,044	57
	令和3年度	20.0%	2,187	2,125	62
	令和4年度	18.3%	2,209	2,152	57
県	平成30年度	19.5%	118,797	115,754	3,043
	平成31年度	19.9%	120,788	117,850	2,938
	令和2年度	20.3%	123,568	120,560	3,008
	令和3年度	20.7%	125,116	122,112	3,004
	令和4年度	19.3%	126,301	123,353	2,948
同規模	平成30年度	19.4%	584,451	573,606	10,845
	平成31年度	19.5%	606,045	595,070	10,975
	令和2年度	19.6%	614,438	603,658	10,780
	令和3年度	19.7%	625,835	615,011	10,824
	令和4年度	19.1%	630,569	619,810	10,759
国	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813
	令和2年度	19.9%	6,750,178	6,595,095	155,083
	令和3年度	20.3%	6,837,233	6,681,504	155,729
	令和4年度	19.4%	6,880,137	6,724,030	156,107

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 要介護(支援)認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (2) 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

以下は、本市の令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を示したものである。疾病別の有病者数を合計すると6,368人となり、これを認定者数の実数で除すと2.9となることから、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

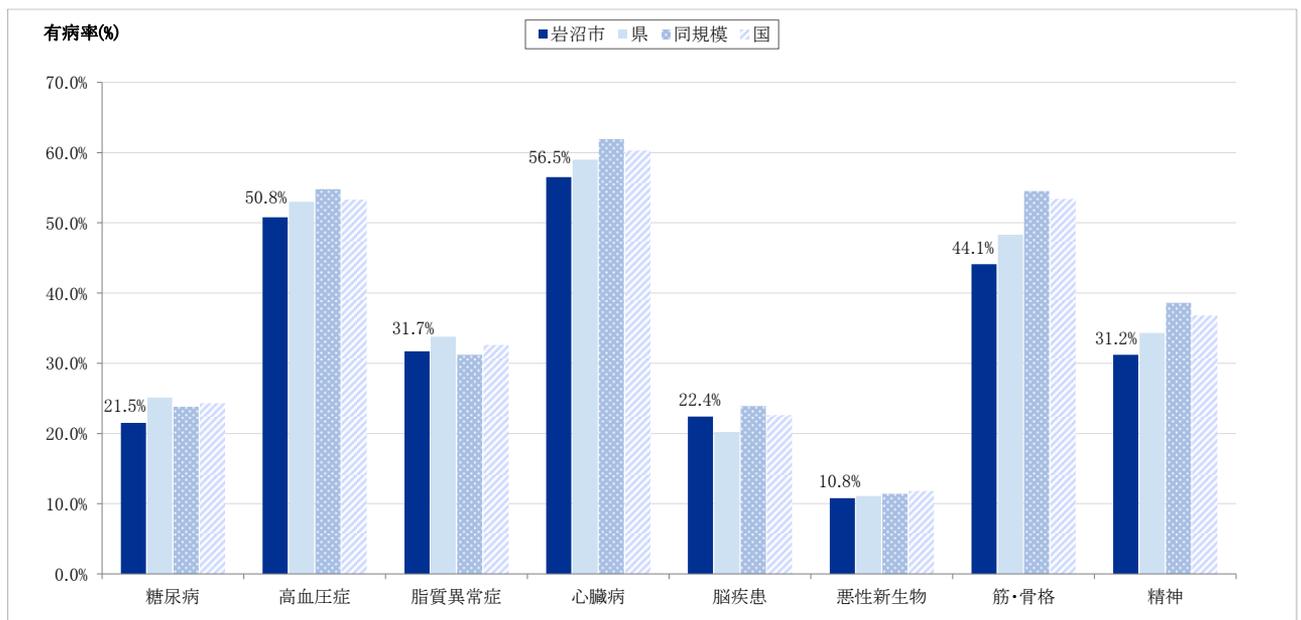
### 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(令和4年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	岩沼市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	2,209		126,301		630,569		6,880,137	
糖尿病	実人数(人)	520	32,641		154,694		1,712,613	
	有病率	21.5%	25.1%	6	23.8%	6	24.3%	6
高血圧症	実人数(人)	1,194	68,483	2	352,398	2	3,744,672	3
	有病率	50.8%	53.0%	2	54.8%	2	53.3%	3
脂質異常症	実人数(人)	741	43,919	5	203,112	5	2,308,216	5
	有病率	31.7%	33.8%	5	31.2%	5	32.6%	5
心臓病	実人数(人)	1,328	76,256	1	397,324	1	4,224,628	1
	有病率	56.5%	59.0%	1	61.9%	1	60.3%	1
脳疾患	実人数(人)	532	25,789	7	151,330	7	1,568,292	7
	有病率	22.4%	20.2%	7	23.9%	7	22.6%	7
悪性新生物	実人数(人)	273	14,584	8	74,764	8	837,410	8
	有病率	10.8%	11.1%	8	11.4%	8	11.8%	8
筋・骨格	実人数(人)	1,039	62,389	3	350,465	3	3,748,372	2
	有病率	44.1%	48.3%	3	54.5%	3	53.4%	2
精神	実人数(人)	741	44,118	4	246,296	4	2,569,149	4
	有病率	31.2%	34.3%	4	38.6%	4	36.8%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を年度別に示したものである。令和4年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成30年度2.5疾病より増加している。

### 年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

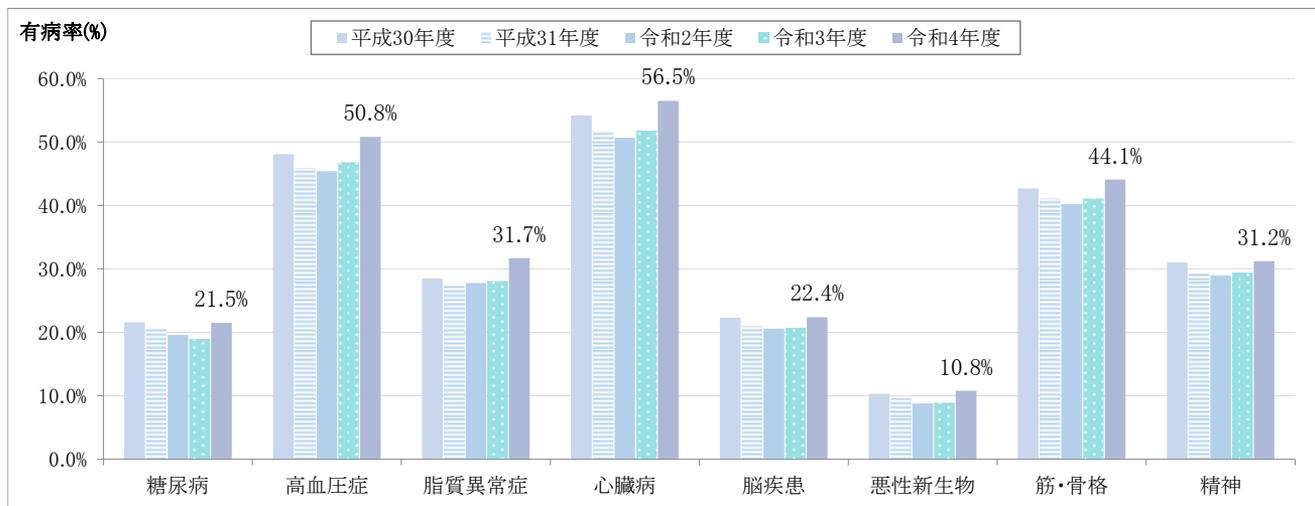
※各項目毎に上位5疾病を

網掛け 表示する。

区分	岩沼市										
	平成30年度	順位	平成31年度	順位	令和2年度	順位	令和3年度	順位	令和4年度	順位	
認定者数(人)	1,998		2,043		2,101		2,187		2,209		
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	431 21.6%	6	408 20.6%	7	416 19.6%	7	435 19.0%	7	520 21.5%	7
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	945 48.1%	2	923 45.9%	2	1,011 45.4%	2	1,038 46.8%	2	1,194 50.8%	2
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	548 28.5%	5	568 27.6%	5	609 27.8%	5	614 28.1%	5	741 31.7%	4
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	1,073 54.2%	1	1,037 51.7%	1	1,123 50.7%	1	1,151 51.8%	1	1,328 56.5%	1
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	426 22.3%	7	409 21.0%	6	463 20.6%	6	453 20.7%	6	532 22.4%	6
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	196 10.3%	8	200 9.6%	8	192 8.8%	8	205 8.9%	8	273 10.8%	8
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	826 42.7%	3	815 41.1%	3	907 40.2%	3	894 41.1%	3	1,039 44.1%	3
精神	実人数(人) 有病率(%)	619 31.0%	4	586 29.3%	4	644 29.0%	4	646 29.4%	4	741 31.2%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 認定者の疾病別有病状況(県)

区分	県					岩沼市 (再掲)					
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
認定者数(人)	118,797	120,788	123,568	125,116	126,301	1,998	2,043	2,101	2,187	2,209	
糖尿病	実人数(人)	29,696	29,960	31,031	31,607	32,641	431	408	416	435	520
	有病率(%)	24.9%	24.9%	24.4%	24.9%	25.1%	21.6%	20.6%	19.6%	19.0%	21.5%
高血圧症	実人数(人)	64,040	64,708	66,346	66,918	68,483	945	923	1,011	1,038	1,194
	有病率(%)	54.0%	53.7%	52.4%	52.9%	53.0%	48.1%	45.9%	45.4%	46.8%	50.8%
脂質異常症	実人数(人)	38,478	39,403	41,040	42,188	43,919	548	568	609	614	741
	有病率(%)	32.2%	32.6%	32.1%	33.1%	33.8%	28.5%	27.6%	27.8%	28.1%	31.7%
心臓病	実人数(人)	71,674	72,273	74,046	74,577	76,256	1,073	1,037	1,123	1,151	1,328
	有病率(%)	60.4%	60.1%	58.5%	59.1%	59.0%	54.2%	51.7%	50.7%	51.8%	56.5%
脳疾患	実人数(人)	27,635	26,863	26,978	26,125	25,789	426	409	463	453	532
	有病率(%)	23.7%	22.8%	21.4%	21.0%	20.2%	22.3%	21.0%	20.6%	20.7%	22.4%
悪性新生物	実人数(人)	12,858	12,986	13,699	14,072	14,584	196	200	192	205	273
	有病率(%)	10.7%	10.8%	10.7%	11.0%	11.1%	10.3%	9.6%	8.8%	8.9%	10.8%
筋・骨格	実人数(人)	58,012	58,412	60,215	60,922	62,389	826	815	907	894	1,039
	有病率(%)	48.9%	48.7%	47.6%	48.1%	48.3%	42.7%	41.1%	40.2%	41.1%	44.1%
精神	実人数(人)	42,520	42,967	43,942	43,776	44,118	619	586	644	646	741
	有病率(%)	36.0%	35.6%	34.7%	34.8%	34.3%	31.0%	29.3%	29.0%	29.4%	31.2%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 認定者の疾病別有病状況(同規模)

区分	同規模					岩沼市 (再掲)					
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
認定者数(人)	584,451	606,045	614,438	625,835	630,569	1,998	2,043	2,101	2,187	2,209	
糖尿病	実人数(人)	134,265	139,887	145,502	149,851	154,694	431	408	416	435	520
	有病率(%)	22.9%	23.1%	22.9%	23.4%	23.8%	21.6%	20.6%	19.6%	19.0%	21.5%
高血圧症	実人数(人)	322,486	333,418	341,576	347,718	352,398	945	923	1,011	1,038	1,194
	有病率(%)	55.1%	54.9%	54.2%	54.7%	54.8%	48.1%	45.9%	45.4%	46.8%	50.8%
脂質異常症	実人数(人)	171,464	181,020	189,136	196,080	203,112	548	568	609	614	741
	有病率(%)	29.1%	29.7%	29.7%	30.5%	31.2%	28.5%	27.6%	27.8%	28.1%	31.7%
心臓病	実人数(人)	366,683	378,090	386,876	392,976	397,324	1,073	1,037	1,123	1,151	1,328
	有病率(%)	62.7%	62.4%	61.4%	61.9%	61.9%	54.2%	51.7%	50.7%	51.8%	56.5%
脳疾患	実人数(人)	155,413	155,845	156,541	154,880	151,330	426	409	463	453	532
	有病率(%)	26.9%	26.0%	25.1%	24.7%	23.9%	22.3%	21.0%	20.6%	20.7%	22.4%
悪性新生物	実人数(人)	63,977	67,192	70,665	72,651	74,764	196	200	192	205	273
	有病率(%)	10.8%	11.0%	11.0%	11.3%	11.4%	10.3%	9.6%	8.8%	8.9%	10.8%
筋・骨格	実人数(人)	319,815	330,145	338,553	344,525	350,465	826	815	907	894	1,039
	有病率(%)	54.6%	54.6%	53.8%	54.3%	54.5%	42.7%	41.1%	40.2%	41.1%	44.1%
精神	実人数(人)	231,263	238,440	244,121	246,532	246,296	619	586	644	646	741
	有病率(%)	39.2%	39.3%	38.8%	39.0%	38.6%	31.0%	29.3%	29.0%	29.4%	31.2%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 認定者の疾病別有病状況(国)

区分	国					岩沼市 (再掲)					
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
認定者数(人)	6,482,704	6,620,276	6,750,178	6,837,233	6,880,137	1,998	2,043	2,101	2,187	2,209	
糖尿病	実人数(人)	1,470,196	1,537,914	1,633,023	1,671,812	1,712,613	431	408	416	435	520
	有病率(%)	22.4%	23.0%	23.3%	24.0%	24.3%	21.6%	20.6%	19.6%	19.0%	21.5%
高血圧症	実人数(人)	3,318,793	3,472,146	3,642,081	3,690,454	3,744,672	945	923	1,011	1,038	1,194
	有病率(%)	50.8%	51.7%	52.4%	53.2%	53.3%	48.1%	45.9%	45.4%	46.8%	50.8%
脂質異常症	実人数(人)	1,915,551	2,036,238	2,170,776	2,236,475	2,308,216	548	568	609	614	741
	有病率(%)	29.2%	30.1%	30.9%	32.0%	32.6%	28.5%	27.6%	27.8%	28.1%	31.7%
心臓病	実人数(人)	3,770,674	3,939,115	4,126,341	4,172,696	4,224,628	1,073	1,037	1,123	1,151	1,328
	有病率(%)	57.8%	58.7%	59.5%	60.3%	60.3%	54.2%	51.7%	50.7%	51.8%	56.5%
脳疾患	実人数(人)	1,563,143	1,587,755	1,627,513	1,599,457	1,568,292	426	409	463	453	532
	有病率(%)	24.3%	24.0%	23.6%	23.4%	22.6%	22.3%	21.0%	20.6%	20.7%	22.4%
悪性新生物	実人数(人)	702,800	739,425	798,740	817,260	837,410	196	200	192	205	273
	有病率(%)	10.7%	11.0%	11.3%	11.6%	11.8%	10.3%	9.6%	8.8%	8.9%	10.8%
筋・骨格	実人数(人)	3,305,225	3,448,596	3,630,436	3,682,549	3,748,372	826	815	907	894	1,039
	有病率(%)	50.6%	51.6%	52.3%	53.2%	53.4%	42.7%	41.1%	40.2%	41.1%	44.1%
精神	実人数(人)	2,339,782	2,437,051	2,554,143	2,562,308	2,569,149	619	586	644	646	741
	有病率(%)	35.8%	36.4%	36.9%	37.2%	36.8%	31.0%	29.3%	29.0%	29.4%	31.2%

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 8. 死亡の状況

以下は、本市の令和4年度における、死亡の状況を示したものである。

### 男女別 標準化死亡比(令和4年度)

	岩沼市	県	同規模	国
男性	90.8	96.4	103.4	100.0
女性	96.9	99.0	101.4	100.0

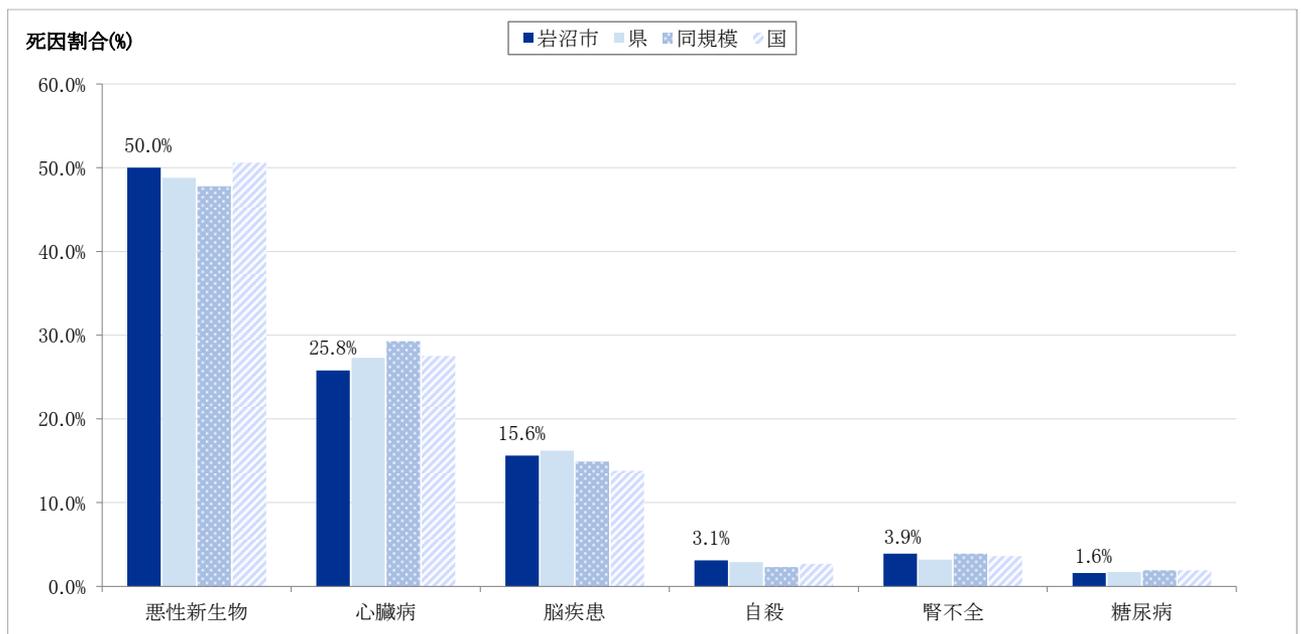
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の状況(令和4年度)

疾病項目	岩沼市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	128	50.0%	48.8%	47.8%	50.6%
心臓病	66	25.8%	27.3%	29.3%	27.5%
脳疾患	40	15.6%	16.2%	14.9%	13.8%
自殺	8	3.1%	2.9%	2.3%	2.7%
腎不全	10	3.9%	3.2%	3.9%	3.6%
糖尿病	4	1.6%	1.7%	1.9%	1.9%
合計	256				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、死亡の状況を年度別に示したものである。

## 年度・男女別 標準化死亡比

区分	男性					女性				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
岩沼市	106.3	106.3	106.3	90.8	90.8	105.1	105.1	105.1	96.9	96.9
県	107.0	107.0	107.0	96.4	96.4	111.9	111.9	111.9	99.0	99.0
同規模	104.8	104.7	104.6	103.5	103.4	101.3	101.4	101.3	101.5	101.4
国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

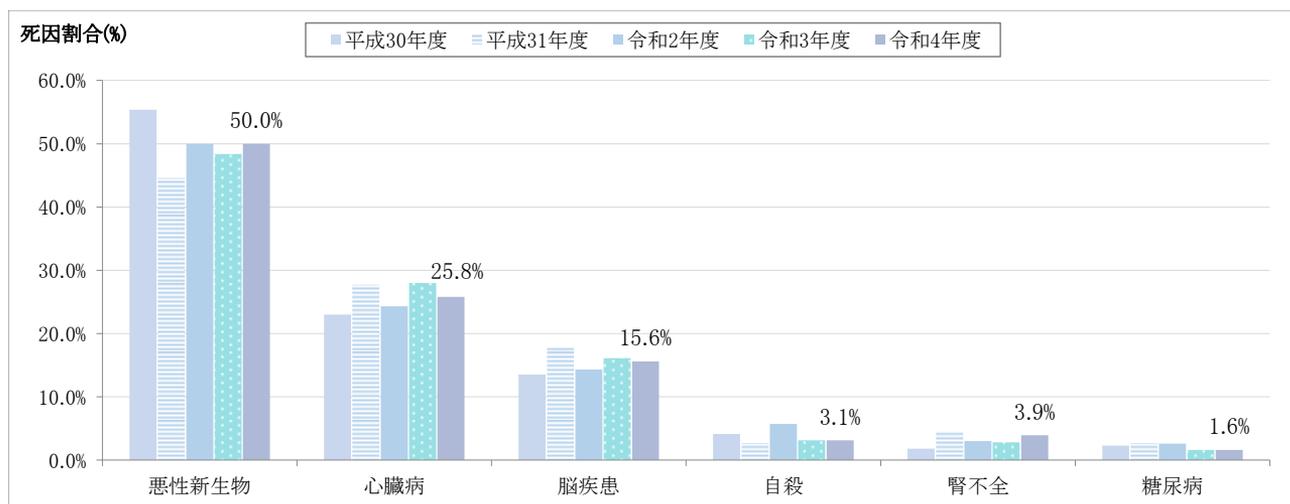
主たる死因の状況について、令和4年度を平成30年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数128人は平成30年度123人より5人増加しており、心臓病を死因とする人数66人は平成30年度51人より15人増加している。また、脳疾患を死因とする人数40人は平成30年度30人より10人増加している。

## 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	岩沼市									
	人数(人)					割合(%)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	123	100	115	123	128	55.4%	44.6%	50.0%	48.4%	50.0%
心臓病	51	62	56	71	66	23.0%	27.7%	24.3%	28.0%	25.8%
脳疾患	30	40	33	41	40	13.5%	17.9%	14.3%	16.1%	15.6%
自殺	9	6	13	8	8	4.1%	2.7%	5.7%	3.1%	3.1%
腎不全	4	10	7	7	10	1.8%	4.5%	3.0%	2.8%	3.9%
糖尿病	5	6	6	4	4	2.3%	2.7%	2.6%	1.6%	1.6%
合計	222	224	230	254	256					

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 主たる死因の割合(県)

疾病項目	県					岩沼市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	48.7%	48.0%	47.3%	47.6%	48.8%	55.4%	44.6%	50.0%	48.4%	50.0%
心臓病	26.8%	27.8%	27.6%	27.7%	27.3%	23.0%	27.7%	24.3%	28.0%	25.8%
脳疾患	16.9%	16.9%	17.3%	17.2%	16.2%	13.5%	17.9%	14.3%	16.1%	15.6%
自殺	3.0%	2.8%	2.7%	2.8%	2.9%	4.1%	2.7%	5.7%	3.1%	3.1%
腎不全	2.9%	2.8%	3.4%	3.2%	3.2%	1.8%	4.5%	3.0%	2.8%	3.9%
糖尿病	1.6%	1.6%	1.7%	1.5%	1.7%	2.3%	2.7%	2.6%	1.6%	1.6%
合計										

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 主たる死因の割合(同規模)

疾病項目	同規模					岩沼市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	47.1%	46.6%	46.5%	46.8%	47.8%	55.4%	44.6%	50.0%	48.4%	50.0%
心臓病	28.3%	29.1%	29.6%	29.6%	29.3%	23.0%	27.7%	24.3%	28.0%	25.8%
脳疾患	16.5%	16.4%	15.8%	15.7%	14.9%	13.5%	17.9%	14.3%	16.1%	15.6%
自殺	2.5%	2.3%	2.3%	2.2%	2.3%	4.1%	2.7%	5.7%	3.1%	3.1%
腎不全	3.7%	3.8%	3.9%	3.9%	3.9%	1.8%	4.5%	3.0%	2.8%	3.9%
糖尿病	1.8%	1.8%	2.0%	1.9%	1.9%	2.3%	2.7%	2.6%	1.6%	1.6%
合計										

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 主たる死因の割合(国)

疾病項目	国					岩沼市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	50.5%	49.9%	49.8%	50.2%	50.6%	55.4%	44.6%	50.0%	48.4%	50.0%
心臓病	26.8%	27.4%	27.8%	27.7%	27.5%	23.0%	27.7%	24.3%	28.0%	25.8%
脳疾患	14.8%	14.7%	14.4%	14.2%	13.8%	13.5%	17.9%	14.3%	16.1%	15.6%
自殺	2.8%	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	4.1%	2.7%	5.7%	3.1%	3.1%
腎不全	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%	1.8%	4.5%	3.0%	2.8%	3.9%
糖尿病	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	2.3%	2.7%	2.6%	1.6%	1.6%
合計										

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

# 第3章 過去の取り組みの考察

## 1. 第2期データヘルス計画全体の評価

第2期データヘルス計画では、計画全般に係る目標及び評価指標が未設定であったため次期計画においては、計画全体の目標及び評価指標を定めることとする。

## 2. 各事業の達成状況

以下は、第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を示したものである。

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
特定健康診査受診率向上事業	H30～R5	特定健康診査の受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日夜間土日の健診事業の開催</li> <li>・がん検診との同時実施</li> <li>・受診者へがん検診受診補助券の配布</li> <li>・受診率向上につながる検査項目導入の検討</li> <li>・オプション検査（前立腺がん検査、貧血検査）の導入</li> <li>・未受診者に対する受診勧奨</li> <li>・人間ドック費用の助成</li> </ul>
特定保健指導利用率向上事業	H30～R5	生活習慣病該当者及び予備群の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な会場（市内3か所）で開催</li> <li>・健診結果手渡し方式の継続</li> <li>・健診会場にて特保判定の流れの周知と利用啓発の実施</li> <li>・個別案内通知の他、電話による利用勧奨</li> <li>・指導開催日毎の事前通知</li> <li>・血糖測定会の開催</li> <li>・取組効果を客観的にみられるよう、血圧・体重・腹囲測定のほか、インボディや活動量計の活用</li> </ul>
高血圧症対策事業	H30～R5	<p>【ポピュレーションアプローチ】血圧に関する正しい知識を普及し、健康管理への意識を高める。</p> <p>【ハイリスク者への支援】生活習慣病の重症化を予防する。</p>	<p>【ポピュレーションアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧に関する情報について、市ホームページや広報に掲載</li> <li>・高血圧値を普及するグッズの配布</li> <li>・3か月児健診にて母の血圧測定、相談、指導、受診勧奨を実施</li> <li>・「カラダみるCafé」の継続実施と市内出張</li> <li>・生活習慣病予防料理教室、生活習慣病予防講演会の開催等</li> <li>・血圧計を3台新設（みなみプラザ、図書館、市民交流プラザ）</li> <li>・50～60歳代対象の働き盛り世代を対象にセミナーの開催</li> <li>・健康講話の実施</li> </ul> <p>【ハイリスク者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診時、血圧140/90以上の方に啓発チラシを配布</li> <li>・ハイリスク者に通知、電話、訪問等で相談、指導、受診勧奨の実施</li> </ul>

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム)	計画策定時実績 2016年度(H28)	目標値 2023年度(R5)	達成状況 2023年度(R5)	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に受診券の送付</li> <li>未受診者への勧奨通知</li> </ul>	100%	100%	100%	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率（前年対比）</li> <li>特定健康診査受診率</li> </ul>	47.4%	2%向上 43%	42.9% 42.9%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に利用券の送付</li> <li>新規対象者への電話等での勧奨率</li> </ul>	100%	100%	100%	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導利用率前年対比</li> <li>対象者の指導利用率</li> </ul>	37.7%	2%向上 42%	43.4% 43.4%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内公共施設への健康チェックコーナーの設置</li> <li>ハイリスク者への支援実施率</li> <li>支援体制整備のための検討会実施</li> </ul>	—	2か所／年 100% 3回／年	3か所 100% 2回	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>40～64歳までのⅡ・Ⅲ度高血圧（160/100mmHg以上）未治療者の受診率</li> </ul>	—	50%	39.1%	

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
糖尿病対策事業	H30～R5	【ポピュレーションアプローチ】血糖に関する知識の普及と健康管理への意識向上 【ハイリスク者への支援】糖尿病の重症化を予防する。	<p>【ポピュレーションアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンコイン血糖測定会の開催</li> <li>30～60歳代対象のパーソナルトレーニングの実施</li> <li>健診結果に血糖に関する啓発チラシを同封</li> <li>いわぬま健康食レシピ集を活用した事業を展開</li> </ul> <p>【ハイリスクアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイリスク者に通知、電話、訪問等で相談、指導、受診勧奨の実施</li> <li>岩沼市医師会の協力を得て作成した市のプログラムに基づき、医療機関と連携し、取り組みを実施</li> </ul>
生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業	H30～R5	生活習慣病治療中断者の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>レセプトデータから対象者を特定</li> <li>生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送</li> <li>通知後に医療機関受診があるか確認</li> <li>受診がない対象者へのフォロー</li> </ul>
ジェネリック医薬品差額通知事業	H30～R5	ジェネリック医薬品の普及率の向上	ジェネリック医薬品差額通知書の送付
服薬情報提供事業	H30～R5	服薬の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>重複、長期多剤服薬者への通知、電話、訪問等の支援</li> <li>薬に関する正しい知識への普及啓発</li> <li>お薬バッグの配布</li> </ul>

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム)	計画策定時実績 2016年度(H28)	目標値 2023年度(R5)	達成状況 2023年度(R5)	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室、セミナー等の開催</li> <li>・ハイリスク者への支援実施率</li> <li>・支援体制整備のための検討会実施</li> </ul>	<p>—</p> <p>100%</p> <p>—</p>	<p>3回／年</p> <p>100%</p> <p>3回／年</p>	<p>7回</p> <p>100%</p> <p>2回</p>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室、セミナー等利用者満足度</li> <li>・40～64歳までの高血糖（HbA1c6.9%以上）未治療者の受診率</li> </ul>	<p>—</p> <p>30%</p>	<p>80%</p> <p>50%</p>	<p>80%以上</p> <p>62.5%</p>	
対象者への通知率	—	100%	100%	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の医療機関受診率</li> <li>・生活習慣病治療中断者</li> </ul>	<p>—</p>	<p>20%</p> <p>30%減少</p>	<p>44.4%</p> <p>9名</p>	
対象者への通知率	100%	100%	100%	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知対象者のジェネリック医薬品普及率（数量ベース）</li> <li>・ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）</li> </ul>	<p>—</p> <p>74.4%</p>	<p>前年比1%向上</p> <p>80%</p>	<p>45.8%</p> <p>85.3%</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への通知率</li> <li>・広報、エフエム、各教室での啓発</li> </ul>	<p>100%</p> <p>—</p>	<p>100%</p> <p>1回／年</p>	<p>100%</p> <p>0回</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者（対前年比）</li> <li>・対象者（平成29年度比）</li> </ul>	<p>681人</p> <p>681人</p>	<p>3%減少</p> <p>5%減少</p>	<p>651人</p> <p>651人</p>	

## 特定健診受診率向上事業

事業目的	特定健康診査の受診率向上
対象者	特定健康診査対象者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日夜間土日の健診事業の開催</li> <li>・がん検診との同時実施</li> <li>・受診者へがん検診受診補助券の配布</li> <li>・受診率向上につながる検査項目導入の検討</li> <li>・オプション検査（前立腺がん検査、貧血検査）の導入</li> <li>・未受診者に対する受診勧奨</li> <li>・人間ドック費用の助成</li> </ul>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：対象者に受診券の送付

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトプット：未受診者への勧奨通知

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	0%	0%	100%	100%

アウトカム：受診率前年対比

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	2%向上	50.0%	52.0%	54.0%	32.0%	38.0%	43.0%
達成状況	47.4%	46.9%	45.9%	32.4%	37.7%	43.8%	42.9%

アウトカム：特定健康診査受診率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	53.0%	50.0%	52.0%	54.0%	32.0%	38.0%	43.0%
達成状況	47.4%	46.9%	45.9%	32.4%	37.7%	43.8%	42.9%

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定

事業全体の評価

5: 目標達成

4: 改善している

3: 横ばい

2: 悪化している

1: 評価できない

**考察**  
(成功・未達要因)

コロナ禍以前は、平日夜間・土日開催、オプション検査の導入、結核・肺がん検診の同時実施など受診者の利便性向上を図ったり、受診者へのインセンティブとしてがん検診で使えるクーポン券を配布したが、なかなか特定健診の受診率の向上にはつながらなかった。また、令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、開催時期の変更や受診控えが生じた結果、受診率が大幅に下がった。

令和4年度からは、未受診者に対する追加健診を再開したことで、都合により受診できなかつた者や年度途中での国保加入者のとりこぼしが少なくなった。加えて、人間ドックを利用する者も増加傾向にあり、徐々に受診率が向上してきている。未受診者の中には、定期的に通院していることを理由に特定健診を受けない者もいることから、そういった方々へのアプローチが今後の課題となっている。

新型コロナウイルス感染症の流行後、受診率が大幅に下落し、その後、徐々に回復傾向にあるものの、受診控えの解消が主な要因であり、当該事業の効果があつたかの判断は難しい。

**今後の方向性**

未受診者の取りこぼしを少なくするため、今後も追加健診を実施するとともに、未受診者の傾向を分析し、タイプ別の勧奨通知の作成等により、受診行動を促していく必要がある。

40～50代の受診率が他の年代に比べて20%程度低いいため、人間ドック助成の活用促進やチラシ等による受診勧奨を強化するとともに、30代から生活習慣病・特定健診に関する周知・啓発を図っていく。また、アンケート調査等により、未受診の要因を分析し、効果的・効率的な手法について検討する。

## 特定保健指導利用率向上事業

事業目的	生活習慣病該当者及び予備群の減少
対象者	特定保健指導対象者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な会場（市内3か所）で開催</li> <li>・健診結果手渡し方式の継続</li> <li>・健診会場にて特保判定の流れの周知と利用啓発の実施</li> <li>・個別案内通知の他、電話による利用勧奨</li> <li>・指導開催日毎の事前通知</li> <li>・血糖測定会の開催</li> <li>・取組効果を客観的にみられるよう、血圧・体重・腹囲測定のほか、インボディや活動量計の活用</li> </ul>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：対象者に利用券の送付

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトプット：新規対象者への電話等での勧奨率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトカム：特定保健指導利用率前年対比

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	2%向上	40.0%	45.0%	50.0%	38.0%	40.0%	42.0%
達成状況	37.7%	26.5%	34.7%	42.4%	52.0%	40.2%	43.4%

アウトカム：対象者の指導利用率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	38.0%	40.0%	42.0%
達成状況	37.7%	26.5%	34.7%	42.4%	52.0%	40.2%	43.4%

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定

<b>事業全体の評価</b>	5: 目標達成
	4: 改善している
	3: 横ばい
	2: 悪化している
	1: 評価できない

<b>考察</b> (成功・未達要因)	<p>令和2年度より、初回分割実施とし健診時面談を開始したことで、特定保健指導に該当する可能性のある対象者に動機付けを行うことができ、利用率の向上につながったと考える。また、健診会場で委託業者のスタッフと顔合わせを行うことで利用勧奨等の連絡がつながりやすくなり、初回利用率が向上した。</p> <p>令和3年度には、健診時面談対象者の基準項目を「腹囲またはBMIのみ」にしたことにより、より多くの対象者に面談を実施することができ、初回成立率がさらに向上した。加えて、初回のみ集団指導と個別指導の選択制とし、休日や夜間も含め対象者が時間を調整しやすくなったことから、40～50代の仕事をしている世代の初回成立率も向上した。</p> <p>令和4年度からは、初回・運動栄養・中間・評価の全てにおいて夜間を設定したことにより、夜間帯に継続利用できる対象者を獲得することができた。令和5年度からは、参加率が低い会場を変更し、新たな会場を利用することで新規利用者の獲得を試みている。</p> <p>以上のように、初回の実施体制や、時間帯、会場等を対象者の傾向に合わせて変更していることが特定保健指導の利用率向上につながっていると考える。今後は利用した者の改善率等についても評価が必要である。</p>
------------------------	--

<b>今後の方向性</b>	利用率向上の取り組みについては継続しつつ、利用者の検査値改善率等についても評価指標を設置する必要がある。
---------------	--

## 高血圧症対策事業

事業目的	<p>【ポピュレーションアプローチ】血圧に関する正しい知識を普及し、健康管理への意識を高める。</p> <p>【ハイリスク者への支援】生活習慣病の重症化を予防する。</p>
対象者	<p>【ポピュレーションアプローチ】被保険者</p> <p>【ハイリスクアプローチ】特定健診対象者</p>
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<p>【ポピュレーションアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧に関する情報について、市ホームページや広報に掲載</li> <li>・高血圧値を普及するグッズの配布</li> <li>・3か月児健診にて母の血圧測定、相談、指導、受診勧奨を実施</li> <li>・「カラダみるCafé」の継続実施と市内出張</li> <li>・生活習慣病予防料理教室、生活習慣病予防講演会の開催等</li> <li>・血圧計を3台新設（みなみプラザ、図書館、市民交流プラザ）</li> <li>・50～60歳代の働き盛り世代を対象にセミナーの開催</li> <li>・健康講話の実施</li> </ul> <p>【ハイリスク者への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診時、血圧140/90以上の方に啓発チラシを配布</li> <li>・ハイリスク者に通知、電話、訪問等で相談、指導、受診勧奨の実施</li> </ul>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：市内公共施設への健康チェックコーナーの設置

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	2か所/年	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
達成状況	—	2か所	2か所	3か所	2か所	3か所	前年度までに設置完了

アウトプット：ハイリスク者への支援実施率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	—	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトプット：支援体制整備のための検討会実施

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	年3回実施	3回	3回	3回	3回	3回	3回
達成状況	—	0回	5回	2回	1回	2回	2回

アウトカム：40～64歳までのⅡ・Ⅲ度高血圧（160/100mmHg以上）未治療者の受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	50%以上	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	—	33.3%	16.7%	3.6%	52.9%	41.9%	39.1%

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定

事業全体の評価	5：目標達成	<p><b>考察</b> (成功・未達要因)</p> <p>ポピュレーションアプローチについては、事業毎の評価指標がないため評価ができなかった。評価指標のある血圧計設置については、R4年度をもって市内公共施設への設置が完了し、施設の協力もあり、血圧計設置場所へ健康づくりのチラシ等を置くことで、より効率的に周知啓発ができていていると感じる。また、カラダみるCaféでは、子育て支援センター等を会場に実施することで、子育て世代である若い世代に対し、健康づくりのきっかけづくりができたと感じる。</p> <p>ハイリスクアプローチでは、対象者の選定について医師会から意見をもらい、選定基準を明確にすることができた。そのため、計画期間内に選定基準が変わってしまい、一概に評価することはできないが、ハイリスク者への支援は継続することができた。受診勧奨後の受診率については、評価時期等を明確にしておらず年度ごとに違いはあるが、R5年度は目標値を達成することができなかった。他の所見（血糖や腎機能）と比較し、受診勧奨をしても対象者の反応が悪く、受診につながらないことも多く、高血圧のリスクの啓発とともに従事者のスキルアップ（動機付け等）を図っていく必要がある。</p>
	4:改善している	
	3:横ばい	
	2:悪化している	<p><b>今後の方向性</b></p> <p>ポピュレーションアプローチでは引き続き血圧に関する正しい知識を普及するとともに、若い世代に対しても血圧測定が身近になるよう取組を継続していく。ハイリスクアプローチでは、他の所見と比較し、「血圧くらい」というリスクに対する理解不足や関心の低さがあるため、他の所見とあわせて受診勧奨を行っていく。今後は健康づくりとしてポピュレーションアプローチを継続しつつ、ハイリスクアプローチは高血圧単独の対策としてではなく、他の生活習慣病対策（主に糖尿病対策）とあわせてアプローチを行っていく。そのためにも、従事者のスキルアップを図るとともに、評価指標を明確にし、経年的に評価できるよう体制を作っていく。</p>
	1:評価できない	

## 糖尿病対策事業

事業目的	【ポピュレーションアプローチ】血糖に関する知識の普及と健康管理への意識向上 【ハイリスク者への支援】糖尿病の重症化を予防する。
対象者	【ポピュレーションアプローチ】基本健診、特定健診対象者 【ハイリスクアプローチ】特定健診対象者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<p>【ポピュレーションアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンコイン血糖測定会の開催</li> <li>30～60歳代対象のパーソナルトレーニングの実施</li> <li>健診結果に血糖に関する啓発チラシを同封</li> <li>いわぬま健康食レシピ集を活用した事業を展開</li> </ul> <p>【ハイリスクアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイリスク者に通知、電話、訪問等で相談、指導、受診勧奨の実施</li> <li>岩沼市医師会の協力を得て作成した市のプログラムに基づき、医療機関と連携し、取り組みを実施</li> </ul>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：教室、セミナー等の開催

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	年3回以上実施	3回	3回	3回	3回	3回	3回
達成状況	—	7回	5回	3回	2回	7回	7回

アウトプット：ハイリスク者への支援実施率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトプット：支援体制整備のための検討会実施

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	年3回以上実施	3回	3回	3回	3回	3回	3回
達成状況	—	0回	5回	2回	1回	2回	2回

アウトカム：教室、セミナー等利用者満足度

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
達成状況	—	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上

アウトカム：40～64歳までの高血糖（HbA1c6.9%以上）未治療者の受診率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	50%以上	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	30.0%	23.5%	50.0%	29.2%	74.3%	59.9%	62.5%

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定

<b>事業全体の評価</b>	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">5：目標達成</span>	<b>考察</b> (成功・未達要因)	<p>ポピュレーションアプローチについては、コロナ禍でのセミナー中止等もあったが、開催ができたものについては、参加者の満足度も高く、効果があったと思われる。また、参集のできないものについては、個別の通知での啓発等を実施した。しかし、参集形式での限界もあり、参集するのは高齢者が多いため、若い世代への啓発普及については検討が必要である。</p> <p>ハイリスクアプローチについては、岩沼市糖尿病性腎症重症化予防プログラムを医師会の協力を得て作成することで、対象者選定の基準を明確にすることができた。また、受診結果連絡票を受診勧奨の案内に同封することで、受診への意識向上にもつながったと思われる。しかし、継続して受診勧奨レベルの対象者で未受診者について、受診の必要性を伝え、受診を促すためにも、従事スタッフのスキルアップを図っていくとともに、支援内容の検討が必要である。また、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの保健指導については、利用者ではなく、かかりつけ医の理解と協力を得ることの難しさを感じる。評価指標については、受診勧奨後の受診率だけでなく、重症化予防の視点からも受診後の検査値の改善や医療費の削減等評価指標の検討が必要である。</p>	
	4:改善している		<b>今後の方向性</b>	<p>ポピュレーションアプローチについては、若い世代にも啓発普及をしていくためにも、参集だけでなく、こちらから出向く方法やSNSの活用など検討が必要である。</p> <p>ハイリスクアプローチについては、受診勧奨の従事スタッフのスキルアップを図るとともに、継続的に抽出される対象者等についても経年的に見ていく必要がある。糖尿病性腎症重症化予防プログラムの保健指導については、今後も医師会に相談を行いながら、かかりつけ医との連携の仕方、協力について検討を行う。評価指標については、受診勧奨後の受診率や検査値改善率等単年で評価するものに加え、健診受診者のデータの推移や新規人工透析導入者の推移等、中長期的に評価できる指標についても検討が必要である。</p>
	3:横ばい			
	2:悪化している			
	1:評価できない			

# 生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業

事業目的	生活習慣病治療中断者の減少
対象者	生活習慣病（糖尿病）の治療中断者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプトデータから対象者を特定</li> <li>・生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送</li> <li>・通知後に医療機関受診があるか確認</li> <li>・受診がない対象者へのフォロー</li> </ul>

## 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：対象者への通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	—	—	100%	100%	100%	100%
達成状況	—	—	—	100%	100%	100%	100%

アウトカム：対象者の医療機関受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	20%	—	—	20%	20%	20%	20%
達成状況	—	—	—	0%	53.8%	38.5%	44.4%

アウトカム：生活習慣病治療中断者

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	30%減少	—	—	30%減少	30%減少	30%減少	30%減少
達成状況	—	—	—	28名	21名	23名	9名

## 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定
-----

事業全体の評価

5: 目標達成

4: 改善している

3: 横ばい

2: 悪化している

1: 評価できない

考察  
(成功・未達  
要因)

糖尿病治療中断者の抽出を国保連合会からのリストをもとにしているが、レセプトで糖尿病の疾患名があっても一時的に検査を実施しただけや医師から言われたことがない等の対象者も多く、中断者の選定が難しかった。そのため、リストのうち、糖尿病治療薬の使用がある者やHbA1c6.5以上の者に絞り支援を実施することで、介入が必要な者に対し効率的に支援ができていたと感じた。受診につながったケースを見ると、心筋梗塞や脳梗塞など自覚症状があって医療へつながっていることが多く、自覚症状のない中断者へ医療の必要性を伝える支援者のスキルアップも必要である。

評価については、他疾患で定期受診している者について、医療機関で診てもらっていると判断してよいのか、どのように評価をしてよいか分からなかった。また、評価指標として中断者の減少についても、抽出の仕方によっても変化してしまうため、経年で評価をすることの困難さを感じた。

今後の  
方向性

対象者の抽出については、国保連合会からのリストをもとに糖尿病治療薬の使用があった者や現状HbA1cが高い者を抽出していく。また、受診勧奨を行う支援者のスキルアップを図り、治療の必要性を伝える工夫や受診への動機付けができるようにする。

評価指標については、医師会等の意見を聞きながら、他科受診者の評価等について、評価時期も含め明確にする。

生活習慣病治療中断者等受診勧奨事業については、糖尿病対策事業と併合し実施していく。

## ジェネリック医薬品差額通知事業

事業目的	ジェネリック医薬品の普及率の向上
対象者	35歳以上の被保険者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	ジェネリック医薬品差額通知書の送付

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：対象者への通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトカム：通知対象者のジェネリック医薬品普及率（数量ベース）

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	対前年比1%向上	対前年比1%向上	対前年比1%向上	対前年比1%向上	対前年比1%向上	対前年比1%向上	対前年比1%向上
達成状況	—	45.3%	45.0%	47.1%	46.7%	45.8%	46.0%

アウトカム：ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
達成状況	74.4%	76.2%	80.7%	83.8%	85.2%	85.4%	85.3%

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定
-----

事業全体の評価

5: 目標達成

4: 改善している

3: 横ばい

2: 悪化している

1: 評価できない

考察  
(成功・未達  
要因)

ジェネリック医薬品の差額通知については、令和2年度以降、年3回に増やした結果、国の目標値を大きく上回る普及率で推移しており、効果的であった。また、記載内容についても、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に削減できる自己負担額を明記していることから、普及率の向上に寄与したと考えられる。

今後の  
方向性

数量ベースの普及率は、国の目標値を上回っているため、引き続き現在の取り組みを実施していく。

# 服薬情報提供事業

事業目的	服薬の適正化
対象者	被保険者
事業実施年度	2018年度～2023年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複、長期多剤服薬者への通知、電話、訪問等の支援</li> <li>・薬に関する正しい知識への普及啓発</li> <li>・お薬バッグの配布</li> </ul>

## 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：対象者への通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	0%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトプット：広報、エフエム、各教室での啓発

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上
達成状況	—	1回	1回	2回	0回	0回	0回

アウトカム：対象者（対前年比）

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	3%減少	3%減少	3%減少	3%減少	3%減少	3%減少	3%減少
達成状況	681人	693人	544人	566人	618人	629人	651人

アウトカム：対象者（平成29年度比）

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	5%減少	5%減少	5%減少	5%減少	5%減少	5%減少	5%減少
達成状況	681人	693人	544人	566人	618人	629人	651人

## 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

未設定
-----

事業全体の評価

5：目標達成

4：改善している

3：横ばい

2：悪化している

1：評価できない

考察  
(成功・未達  
要因)

薬剤の種類、処方の日数が多い者に対しては、通知や直接訪問等による状況の把握や薬剤師への相談支援は一定の効果があった。また、お薬バッグ等の活用も合わせて、被保険者がかかりつけ医や薬剤師と相談するきっかけづくりになった。しかし、薬の組合せごとにリスク・ベネフィットが異なるため、複数種類の医薬品の投与の適否については、一概に判断できず、専門的な知識が必要な分野であることから、市の保健師での対応には限界があり、医師会や薬剤師会との連携強化が必要不可欠となる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、対象者の大幅な増加や通常より処方日数が長い状況が解消されていないため、事業実施による効果の評価は困難である。

今後の  
方向性

引き続き医師会及び薬剤師会との連携を強化しながら、コロナ禍で実施できなかった薬に関する相談会や教室等による普及啓発を図っていく。

服薬情報の通知については、対象者に伝わりやすい内容に改善していく必要がある。また、対象者の抽出条件については、薬剤師会等の意見を踏まえながら検討していく。

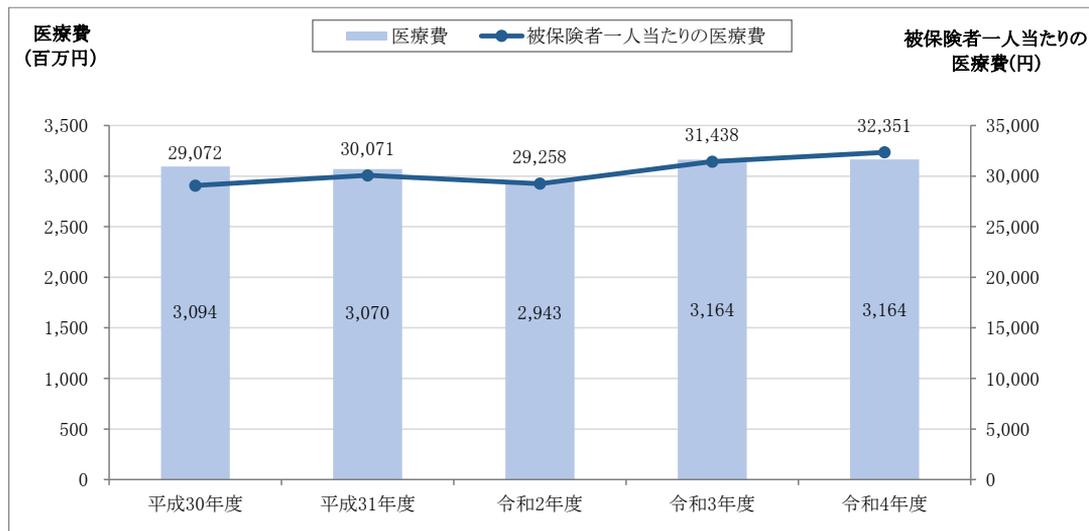
# 第4章 健康・医療情報等の分析

## 1. 医療費の基礎集計

### (1) 医療費の状況

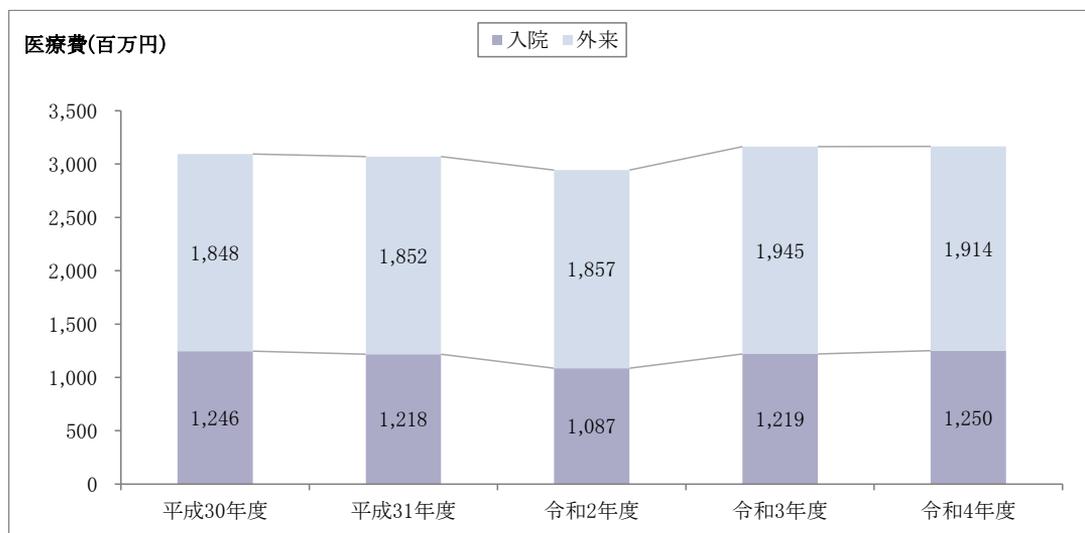
以下は、本市の医療費の状況を示したものである。

#### 年度別 医療費の状況



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

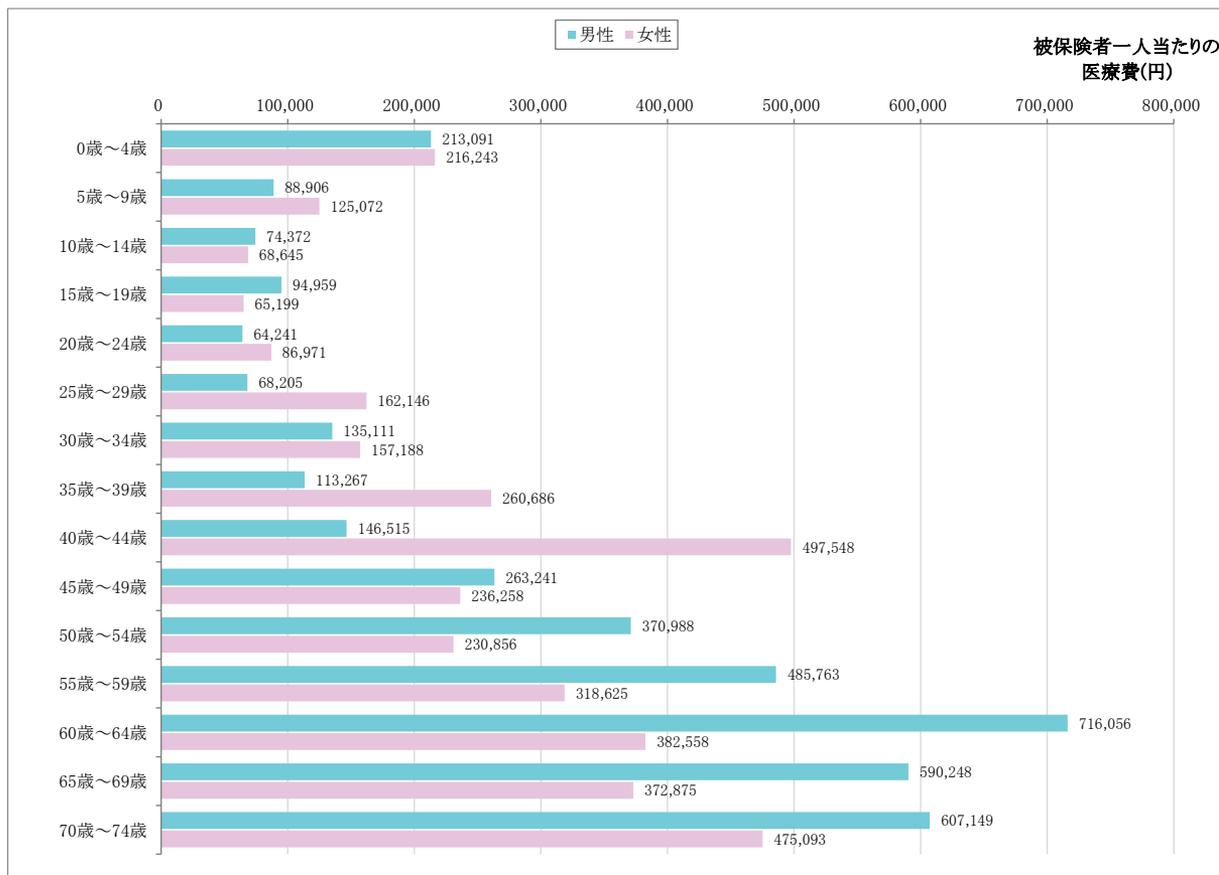
#### 年度別 入院・外来別医療費



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度における、本市の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものである。

### 男女年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(大分類)」

以下は、年度別の被保険者一人当たりの医療費を示したものである。

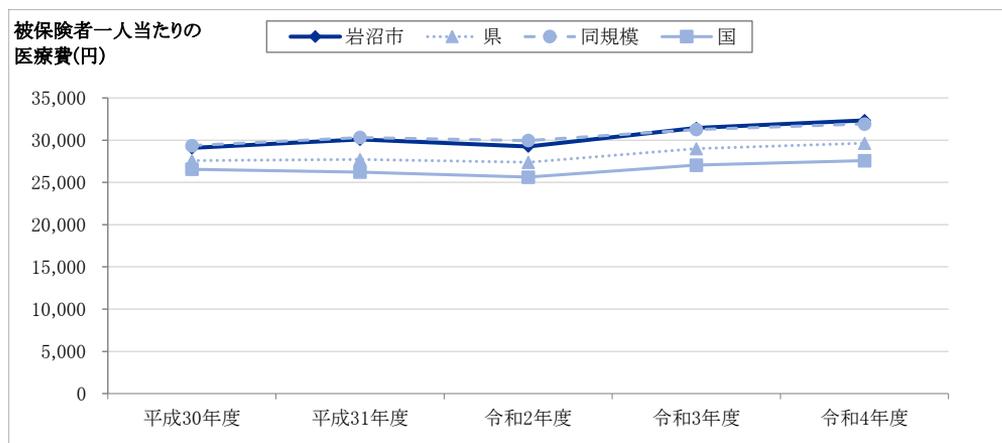
## 年度別 被保険者一人当たりの医療費

単位：円

年度	岩沼市	県	同規模	国
平成30年度	29,072	27,584	29,348	26,555
平成31年度	30,071	27,717	30,311	26,225
令和2年度	29,258	27,380	29,958	25,629
令和3年度	31,438	28,990	31,258	27,039
令和4年度	32,351	29,626	31,918	27,570

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

## 年度別 被保険者一人当たりの医療費

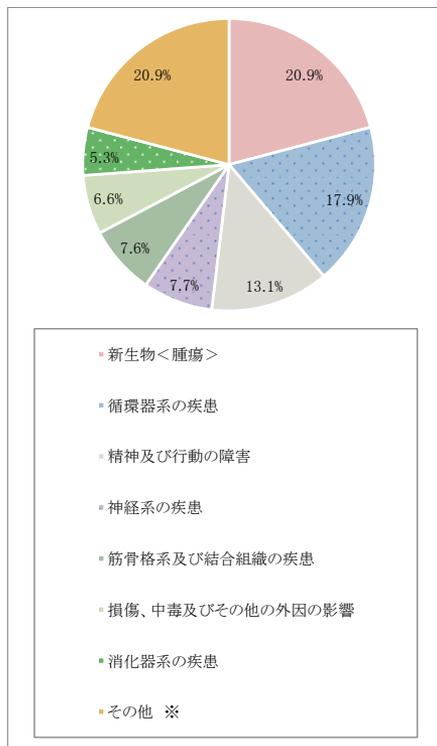


出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

## (2) 疾病別医療費

令和4年度の入院医療費では、「新生物<腫瘍>」が最も高く、20.9%を占めている。

大分類別医療費構成比  
(入院) (令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析  
(入院) (令和4年度)

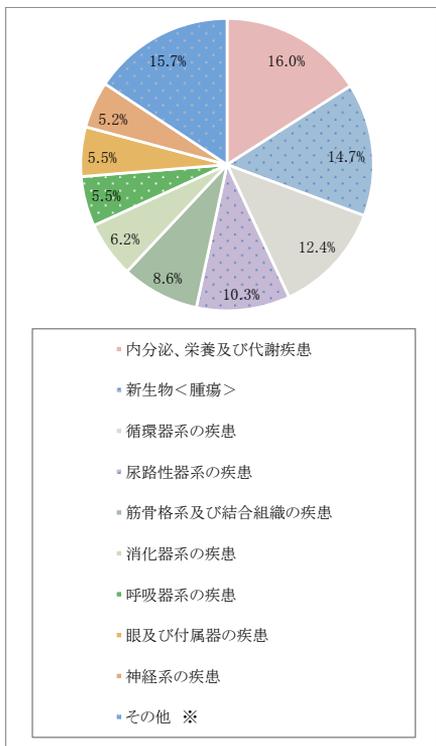
順位	大分類別分析	中分類別分析	細小分類分析			
1	新生物<腫瘍>	20.9%	その他の悪性新生物<腫瘍>	5.5%	膀胱がん	0.6%
			白血病	3.2%	前立腺がん	0.6%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3.0%	膵臓がん	0.5%
					白血病	3.2%
			肺がん	3.0%		
2	循環器系の疾患	17.9%	その他の心疾患	7.7%	不整脈	3.6%
			虚血性心疾患	4.1%	心臓弁膜症	1.1%
			その他の循環器系の疾患	1.7%	狭心症	2.5%
					大動脈瘤	0.6%
3	精神及び行動の障害	13.1%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8.8%	統合失調症	8.8%
			気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.0%	うつ病	2.0%
			神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0.9%		
4	神経系の疾患	7.7%	その他の神経系の疾患	4.2%	一過性脳虚血発作	0.2%
			脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1.3%	睡眠時無呼吸症候群	0.0%
			てんかん	1.1%		

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の外来医療費では、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が最も高く、16.0%を占めている。

大分類別医療費構成比  
(外来) (令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析  
(外来) (令和4年度)

順位	大分類別分析	中分類別分析		細小分類分析		
		割合	割合	割合	割合	
1	内分泌、栄養及び代謝疾患	16.0%	糖尿病	11.1%	糖尿病	10.4%
			脂質異常症	3.3%	糖尿病網膜症	0.6%
			その他の内分泌、栄養及び代謝障害	0.9%	脂質異常症	3.3%
					痛風・高尿酸血症	0.0%
2	新生物<腫瘍>	14.7%	その他の悪性新生物<腫瘍>	6.0%	前立腺がん	1.9%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3.2%	膵臓がん	0.4%
			乳房の悪性新生物<腫瘍>	1.3%	膀胱がん	0.4%
					肺がん	3.2%
3	循環器系の疾患	12.4%	高血圧性疾患	5.4%	乳がん	1.3%
			その他の心疾患	5.0%	高血圧症	5.4%
			虚血性心疾患	0.9%	不整脈	3.2%
					狭心症	0.7%
4	泌尿器系の疾患	10.3%	腎不全	8.6%	慢性腎臓病(透析あり)	6.5%
			その他の腎尿路系の疾患	0.6%	慢性腎臓病(透析なし)	0.1%
			乳房及びその他の女性生殖器の疾患	0.4%	乳腺症	0.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「糖尿病」で、6.7%を占めている。

### 細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	糖尿病	209,755,810	6.7%
2	慢性腎臓病(透析あり)	142,000,010	4.5%
3	統合失調症	139,558,680	4.4%
4	関節疾患	110,394,630	3.5%
5	高血圧症	105,189,770	3.3%
6	不整脈	105,069,900	3.3%
7	肺がん	99,205,770	3.1%
8	脂質異常症	64,073,360	2.0%
9	うつ病	57,884,920	1.8%
10	骨折	52,736,780	1.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※割合…総医療費に占める割合。

※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

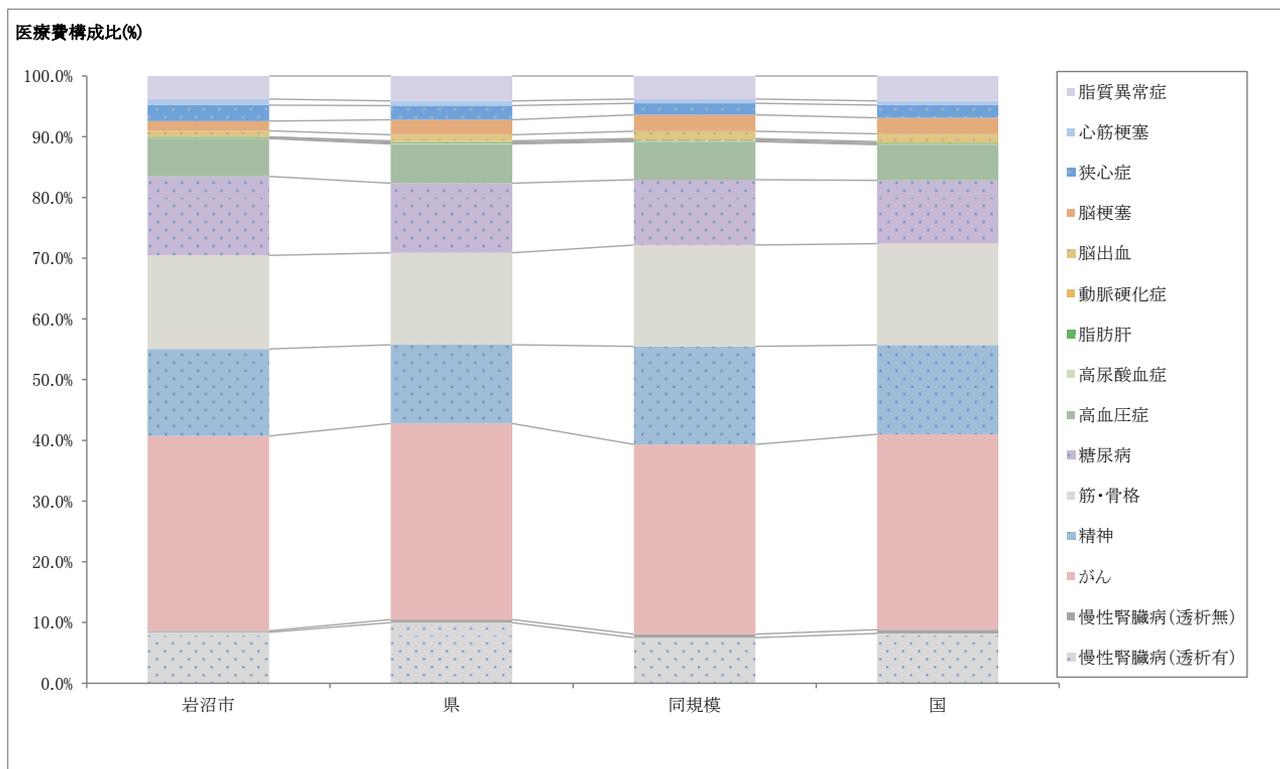
以下は、令和4年度における最大医療資源傷病名別の医療費構成比を示したものである。

### 最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)

傷病名	岩沼市	県	同規模	国
慢性腎臓病(透析有)	8.4%	10.0%	7.5%	8.2%
慢性腎臓病(透析無)	0.2%	0.5%	0.6%	0.6%
がん	32.1%	32.4%	31.3%	32.2%
精神	14.3%	13.0%	16.2%	14.7%
筋・骨格	15.4%	15.2%	16.7%	16.7%
糖尿病	13.0%	11.5%	10.8%	10.4%
高血圧症	6.2%	6.5%	6.3%	5.9%
高尿酸血症	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
脂肪肝	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
動脈硬化症	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%
脳出血	1.0%	1.0%	1.2%	1.3%
脳梗塞	1.6%	2.5%	2.7%	2.6%
狭心症	2.6%	2.3%	1.9%	2.1%
心筋梗塞	1.0%	0.8%	0.7%	0.7%
脂質異常症	3.8%	4.1%	3.8%	4.1%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

### 最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、入外合計別に示したものである。

### 生活習慣病等疾病別医療費統計(入院)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	11,264,940	0.9%	8	33	1.6%	4	341,362	8
高血圧症	2,454,090	0.2%	9	9	0.4%	9	272,677	10
脂質異常症	1,104,680	0.1%	10	4	0.2%	10	276,170	9
高尿酸血症	90,570	0.0%	11	1	0.0%	11	90,570	11
脂肪肝	0	0.0%	12	0	0.0%	12	0	12
動脈硬化症	0	0.0%	12	0	0.0%	12	0	12
脳出血	15,765,060	1.3%	6	20	1.0%	7	788,253	5
脳梗塞	20,390,780	1.6%	5	32	1.6%	5	637,212	6
狭心症	31,857,100	2.5%	4	23	1.1%	6	1,385,091	1
心筋梗塞	15,181,500	1.2%	7	12	0.6%	8	1,265,125	2
がん	260,947,730	20.9%	1	301	14.7%	2	866,936	3
筋・骨格	95,331,860	7.6%	3	118	5.8%	3	807,897	4
精神	163,912,890	13.1%	2	384	18.8%	1	426,856	7
その他(上記以外のもの)	631,516,310	50.5%		1,107	54.2%		570,475	
合計	1,249,817,510			2,044			611,457	

出典: 国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

### 生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	207,560,670	10.9%	2	7,353	9.2%	3	28,228	2
高血圧症	102,735,680	5.4%	4	8,849	11.0%	2	11,610	12
脂質異常症	62,968,680	3.3%	6	5,248	6.5%	4	11,999	11
高尿酸血症	861,370	0.0%	11	105	0.1%	10	8,204	13
脂肪肝	3,330,380	0.2%	9	159	0.2%	9	20,946	4
動脈硬化症	655,940	0.0%	12	48	0.1%	12	13,665	10
脳出血	571,150	0.0%	13	35	0.0%	13	16,319	8
脳梗塞	7,008,010	0.4%	8	437	0.5%	8	16,037	9
狭心症	12,566,300	0.7%	7	721	0.9%	7	17,429	6
心筋梗塞	1,969,950	0.1%	10	80	0.1%	11	24,624	3
がん	280,148,650	14.7%	1	2,569	3.2%	6	109,050	1
筋・骨格	163,410,270	8.6%	3	9,555	11.9%	1	17,102	7
精神	76,650,590	4.0%	5	4,302	5.4%	5	17,817	5
その他(上記以外のもの)	982,168,500	51.6%		40,790	50.8%		24,079	
合計	1,902,606,140			80,251			23,708	

出典: 国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(入外合計)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	218,825,610	6.9%	4	7,386	9.0%	3	29,627	7
高血圧症	105,189,770	3.3%	5	8,858	10.8%	2	11,875	12
脂質異常症	64,073,360	2.0%	6	5,252	6.4%	4	12,200	11
高尿酸血症	951,940	0.0%	12	106	0.1%	10	8,981	13
脂肪肝	3,330,380	0.1%	11	159	0.2%	9	20,946	9
動脈硬化症	655,940	0.0%	13	48	0.1%	13	13,665	10
脳出血	16,336,210	0.5%	10	55	0.1%	12	297,022	1
脳梗塞	27,398,790	0.9%	8	469	0.6%	8	58,420	5
狭心症	44,423,400	1.4%	7	744	0.9%	7	59,709	4
心筋梗塞	17,151,450	0.5%	9	92	0.1%	11	186,429	3
がん	541,096,380	17.2%	1	2,870	3.5%	6	188,535	2
筋・骨格	258,742,130	8.2%	2	9,673	11.8%	1	26,749	8
精神	240,563,480	7.6%	3	4,686	5.7%	5	51,337	6
その他(上記以外のもの)	1,613,684,810	51.2%		41,897	50.9%		38,516	
合計	3,152,423,650			82,295			38,306	

出典: 国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

## 2. 生活習慣病に関する分析

### (1) 生活習慣病患者の状況

以下は、生活習慣病患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものである。

#### 生活習慣病全体のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	生活習慣病対象者		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	H	H/C	
20歳代以下	1,069	479	88	8.2%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	82	14.8%	1	1.2%	1	1.2%	0	0.0%	2	2.4%	0	0.0%	
40歳代	828	407	202	24.4%	11	5.4%	10	5.0%	0	0.0%	35	17.3%	9	4.5%	
50歳代	777	541	302	38.9%	18	6.0%	33	10.9%	10	3.3%	87	28.8%	15	5.0%	
60歳～64歳	686	603	337	49.1%	28	8.3%	37	11.0%	3	0.9%	106	31.5%	15	4.5%	
65歳～69歳	1,788	1,784	1,041	58.2%	116	11.1%	113	10.9%	11	1.1%	345	33.1%	41	3.9%	
70歳～74歳	2,631	3,129	1,719	65.3%	244	14.2%	229	13.3%	11	0.6%	593	34.5%	63	3.7%	
全体	8,333	7,141	3,771	45.3%	420	11.1%	423	11.2%	35	0.9%	1,168	31.0%	143	3.8%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	3,601	53.7%	417	11.6%	422	11.7%	35	1.0%	1,166	32.4%	143	4.0%
	65歳～74歳	4,419	4,913	2,760	62.5%	360	13.0%	342	12.4%	22	0.8%	938	34.0%	104	3.8%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	N	N/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%	3	3.4%	1	1.1%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	12.2%	6	7.3%	17	20.7%	
40歳代	5	2.5%	4	2.0%	0	0.0%	47	23.3%	20	9.9%	61	30.2%	
50歳代	6	2.0%	11	3.6%	4	1.3%	130	43.0%	31	10.3%	126	41.7%	
60歳～64歳	15	4.5%	12	3.6%	1	0.3%	212	62.9%	34	10.1%	182	54.0%	
65歳～69歳	47	4.5%	38	3.7%	10	1.0%	647	62.2%	125	12.0%	562	54.0%	
70歳～74歳	84	4.9%	67	3.9%	17	1.0%	1,165	67.8%	226	13.1%	933	54.3%	
全体	157	4.2%	132	3.5%	32	0.8%	2,213	58.7%	445	11.8%	1,882	49.9%	
再掲	40歳～74歳	157	4.4%	132	3.7%	32	0.9%	2,201	61.1%	436	12.1%	1,864	51.8%
	65歳～74歳	131	4.7%	105	3.8%	27	1.0%	1,812	65.7%	351	12.7%	1,495	54.2%

出典：国保データベース (KDB) システム「生活習慣病全体のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

#### 糖尿病のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	1,069	479	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	828	407	35	4.2%	9	25.7%	5	14.3%	4	11.4%	0	0.0%	
50歳代	777	541	87	11.2%	15	17.2%	6	6.9%	11	12.6%	4	4.6%	
60歳～64歳	686	603	106	15.5%	15	14.2%	15	14.2%	12	11.3%	1	0.9%	
65歳～69歳	1,788	1,784	345	19.3%	41	11.9%	47	13.6%	38	11.0%	10	2.9%	
70歳～74歳	2,631	3,129	593	22.5%	63	10.6%	84	14.2%	67	11.3%	17	2.9%	
全体	8,333	7,141	1,168	14.0%	143	12.2%	157	13.4%	132	11.3%	32	2.7%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	1,166	17.4%	143	12.3%	157	13.5%	132	11.3%	32	2.7%
	65歳～74歳	4,419	4,913	938	21.2%	104	11.1%	131	14.0%	105	11.2%	27	2.9%

年齢階層	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%	
40歳代	3	8.6%	3	8.6%	0	0.0%	15	42.9%	7	20.0%	24	68.6%	
50歳代	10	11.5%	18	20.7%	8	9.2%	58	66.7%	21	24.1%	60	69.0%	
60歳～64歳	13	12.3%	16	15.1%	2	1.9%	81	76.4%	18	17.0%	76	71.7%	
65歳～69歳	62	18.0%	48	13.9%	7	2.0%	261	75.7%	68	19.7%	245	71.0%	
70歳～74歳	119	20.1%	92	15.5%	3	0.5%	466	78.6%	99	16.7%	409	69.0%	
全体	207	17.7%	178	15.2%	20	1.7%	882	75.5%	214	18.3%	816	69.9%	
再掲	40歳～74歳	207	17.8%	177	15.2%	20	1.7%	881	75.6%	213	18.3%	814	69.8%
	65歳～74歳	181	19.3%	140	14.9%	10	1.1%	727	77.5%	167	17.8%	654	69.7%

出典：国保データベース (KDB) システム「糖尿病のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

## 脂質異常症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳以下	1,069	479	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	17	3.1%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	2	11.8%	
40歳代	828	407	61	7.4%	5	8.2%	4	6.6%	0	0.0%	24	39.3%	
50歳代	777	541	126	16.2%	11	8.7%	23	18.3%	7	5.6%	60	47.6%	
60歳～64歳	686	603	182	26.5%	16	8.8%	25	13.7%	1	0.5%	76	41.8%	
65歳～69歳	1,788	1,784	562	31.4%	75	13.3%	86	15.3%	4	0.7%	245	43.6%	
70歳～74歳	2,631	3,129	933	35.5%	166	17.8%	169	18.1%	6	0.6%	409	43.8%	
全体	8,333	7,141	1,882	22.6%	273	14.5%	308	16.4%	18	1.0%	816	43.4%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	1,864	27.8%	273	14.6%	307	16.5%	18	1.0%	814	43.7%
	65歳～74歳	4,419	4,913	1,495	33.8%	241	16.1%	255	17.1%	10	0.7%	654	43.7%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	29.4%	3	17.6%	
40歳代	7	11.5%	3	4.9%	4	6.6%	0	0.0%	20	32.8%	16	26.2%	
50歳代	10	7.9%	4	3.2%	6	4.8%	4	3.2%	74	58.7%	24	19.0%	
60歳～64歳	8	4.4%	12	6.6%	8	4.4%	1	0.5%	137	75.3%	28	15.4%	
65歳～69歳	34	6.0%	40	7.1%	26	4.6%	7	1.2%	398	70.8%	89	15.8%	
70歳～74歳	48	5.1%	72	7.7%	42	4.5%	13	1.4%	727	77.9%	151	16.2%	
全体	107	5.7%	131	7.0%	86	4.6%	25	1.3%	1,361	72.3%	311	16.5%	
再掲	40歳～74歳	107	5.7%	131	7.0%	86	4.6%	25	1.3%	1,356	72.7%	308	16.5%
	65歳～74歳	82	5.5%	112	7.5%	68	4.5%	20	1.3%	1,125	75.3%	240	16.1%

出典：国保データベース (KDB) システム「脂質異常症のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

## 高血圧症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳以下	1,069	479	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	10	1.8%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%	
40歳代	828	407	47	5.7%	7	14.9%	4	8.5%	0	0.0%	15	31.9%	
50歳代	777	541	130	16.7%	13	10.0%	23	17.7%	10	7.7%	58	44.6%	
60歳～64歳	686	603	212	30.9%	23	10.8%	31	14.6%	3	1.4%	81	38.2%	
65歳～69歳	1,788	1,784	647	36.2%	88	13.6%	93	14.4%	9	1.4%	261	40.3%	
70歳～74歳	2,631	3,129	1,165	44.3%	202	17.3%	190	16.3%	8	0.7%	466	40.0%	
全体	8,333	7,141	2,213	26.6%	333	15.0%	342	15.5%	30	1.4%	882	39.9%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	2,201	32.8%	333	15.1%	341	15.5%	30	1.4%	881	40.0%
	65歳～74歳	4,419	4,913	1,812	41.0%	290	16.0%	283	15.6%	17	0.9%	727	40.1%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	5	50.0%	
40歳代	6	12.8%	4	8.5%	4	8.5%	0	0.0%	14	29.8%	20	42.6%	
50歳代	9	6.9%	4	3.1%	7	5.4%	4	3.1%	28	21.5%	74	56.9%	
60歳～64歳	9	4.2%	13	6.1%	10	4.7%	1	0.5%	33	15.6%	137	64.6%	
65歳～69歳	32	4.9%	42	6.5%	23	3.6%	7	1.1%	103	15.9%	398	61.5%	
70歳～74歳	53	4.5%	70	6.0%	45	3.9%	13	1.1%	192	16.5%	727	62.4%	
全体	109	4.9%	133	6.0%	89	4.0%	25	1.1%	374	16.9%	1,361	61.5%	
再掲	40歳～74歳	109	5.0%	133	6.0%	89	4.0%	25	1.1%	370	16.8%	1,356	61.6%
	65歳～74歳	85	4.7%	112	6.2%	68	3.8%	20	1.1%	295	16.3%	1,125	62.1%

出典：国保データベース (KDB) システム「高血圧症のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

## 虚血性心疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳以下	1,069	479	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	
40歳代	828	407	10	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	30.0%	1	10.0%	
50歳代	777	541	33	4.2%	0	0.0%	5	15.2%	18	54.5%	5	15.2%	
60歳～64歳	686	603	37	5.4%	4	10.8%	1	2.7%	16	43.2%	1	2.7%	
65歳～69歳	1,788	1,784	113	6.3%	21	18.6%	4	3.5%	48	42.5%	8	7.1%	
70歳～74歳	2,631	3,129	229	8.7%	54	23.6%	5	2.2%	92	40.2%	12	5.2%	
全体	8,333	7,141	423	5.1%	79	18.7%	15	3.5%	178	42.1%	27	6.4%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	422	6.3%	79	18.7%	15	3.6%	177	41.9%	27	6.4%
再掲	65歳～74歳	4,419	4,913	342	7.7%	75	21.9%	9	2.6%	140	40.9%	20	5.8%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	
40歳代	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	5	50.0%	4	40.0%	
50歳代	2	6.1%	2	6.1%	1	3.0%	23	69.7%	6	18.2%	23	69.7%	
60歳～64歳	1	2.7%	1	2.7%	0	0.0%	31	83.8%	5	13.5%	25	67.6%	
65歳～69歳	7	6.2%	4	3.5%	2	1.8%	93	82.3%	26	23.0%	86	76.1%	
70歳～74歳	14	6.1%	8	3.5%	2	0.9%	190	83.0%	59	25.8%	169	73.8%	
全体	25	5.9%	15	3.5%	5	1.2%	342	80.9%	101	23.9%	308	72.8%	
再掲	40歳～74歳	25	5.9%	15	3.6%	5	1.2%	341	80.8%	101	23.9%	307	72.7%
再掲	65歳～74歳	21	6.1%	12	3.5%	4	1.2%	283	82.7%	85	24.9%	255	74.6%

出典：国保データベース (KDB) システム「虚血性心疾患のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

## 脳血管疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳以下	1,069	479	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	828	407	11	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	1	9.1%	
50歳代	777	541	18	2.3%	0	0.0%	1	5.6%	10	55.6%	0	0.0%	
60歳～64歳	686	603	28	4.1%	4	14.3%	2	7.1%	13	46.4%	3	10.7%	
65歳～69歳	1,788	1,784	116	6.5%	21	18.1%	2	1.7%	62	53.4%	7	6.0%	
70歳～74歳	2,631	3,129	244	9.3%	54	22.1%	2	0.8%	119	48.8%	17	7.0%	
全体	8,333	7,141	420	5.0%	79	18.8%	7	1.7%	207	49.3%	28	6.7%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	417	6.2%	79	18.9%	7	1.7%	207	49.6%	28	6.7%
再掲	65歳～74歳	4,419	4,913	360	8.1%	75	20.8%	4	1.1%	181	50.3%	24	6.7%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	63.6%	3	27.3%	5	45.5%	
50歳代	1	5.6%	1	5.6%	0	0.0%	13	72.2%	3	16.7%	11	61.1%	
60歳～64歳	2	7.1%	2	7.1%	1	3.6%	23	82.1%	5	17.9%	16	57.1%	
65歳～69歳	21	18.1%	5	4.3%	5	4.3%	88	75.9%	23	19.8%	75	64.7%	
70歳～74歳	30	12.3%	8	3.3%	5	2.0%	202	82.8%	51	20.9%	166	68.0%	
全体	54	12.9%	16	3.8%	11	2.6%	333	79.3%	85	20.2%	273	65.0%	
再掲	40歳～74歳	54	12.9%	16	3.8%	11	2.6%	333	79.9%	85	20.4%	273	65.5%
再掲	65歳～74歳	51	14.2%	13	3.6%	10	2.8%	290	80.6%	74	20.6%	241	66.9%

出典：国保データベース (KDB) システム「脳血管疾患のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

## (2) 透析患者の状況

透析患者の状況について分析を行う。以下は、令和4年度における、透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合を示したものである。

### 透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合(令和4年度)

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
岩沼市	7,872	36	0.46%
県	460,898	1,954	0.42%
同規模	2,020,054	7,840	0.39%
国	27,488,882	89,397	0.33%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

以下は、本市の年度別の透析患者数及び医療費の状況等について示したものである。

### 年度別 透析患者数及び医療費

年度	透析患者数(人)	透析医療費(円)※	患者一人当たりの透析医療費(円)
平成30年度	37	239,563,960	6,474,702
平成31年度	35	209,403,920	5,982,969
令和2年度	34	205,079,700	6,031,756
令和3年度	35	208,344,960	5,952,713
令和4年度	36	190,932,850	5,303,690

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

※透析医療費…人工透析を行っているレセプトの総点数を医療費換算したもの。

以下は、透析患者数及び被保険者に占める割合を男女年齢階層別に示したものである。

### 男女年齢階層別 透析患者数及び被保険者に占める割合

年齢階層	男女合計			男性			女性		
	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)
0歳～4歳	116	0	0.00%	68	0	0.00%	48	0	0.00%
5歳～9歳	147	0	0.00%	73	0	0.00%	74	0	0.00%
10歳～14歳	163	0	0.00%	83	0	0.00%	80	0	0.00%
15歳～19歳	184	0	0.00%	92	0	0.00%	92	0	0.00%
20歳～24歳	239	0	0.00%	122	0	0.00%	117	0	0.00%
25歳～29歳	220	0	0.00%	104	0	0.00%	116	0	0.00%
30歳～34歳	234	0	0.00%	130	0	0.00%	104	0	0.00%
35歳～39歳	320	0	0.00%	185	0	0.00%	135	0	0.00%
40歳～44歳	360	0	0.00%	185	0	0.00%	175	0	0.00%
45歳～49歳	468	0	0.00%	237	0	0.00%	231	0	0.00%
50歳～54歳	398	4	1.01%	205	2	0.98%	193	2	1.04%
55歳～59歳	379	6	1.58%	210	3	1.43%	169	3	1.78%
60歳～64歳	686	3	0.44%	293	3	1.02%	393	0	0.00%
65歳～69歳	1,788	11	0.62%	813	5	0.62%	975	6	0.62%
70歳～74歳	2,631	11	0.42%	1,194	5	0.42%	1,437	6	0.42%
全体	8,333	35	0.42%	3,994	18	0.45%	4,339	17	0.39%

出典：国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

以下は、透析患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものである。

### 透析のレセプト分析

年齢階層	被保険者数(人)	レセプト件数(件)	人工透析		糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	1,069	479	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	554	198	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	828	407	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
50歳代	777	541	10	1.3%	8	80.0%	3	30.0%	0	0.0%	3	30.0%	
60歳～64歳	686	603	3	0.4%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
65歳～69歳	1,788	1,784	11	0.6%	7	63.6%	3	27.3%	1	9.1%	1	9.1%	
70歳～74歳	2,631	3,129	11	0.4%	3	27.3%	1	9.1%	1	9.1%	1	9.1%	
全体	8,333	7,141	35	0.4%	20	57.1%	7	20.0%	2	5.7%	5	14.3%	
再掲	40歳～74歳	6,710	6,464	35	0.5%	20	57.1%	7	20.0%	2	5.7%	5	14.3%
再掲	65歳～74歳	4,419	4,913	22	0.5%	10	45.5%	4	18.2%	2	9.1%	2	9.1%

年齢階層	糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
50歳代	1	10.0%	10	100.0%	5	50.0%	7	70.0%	1	10.0%	5	50.0%	
60歳～64歳	0	0.0%	3	100.0%	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%	1	33.3%	
65歳～69歳	2	18.2%	9	81.8%	1	9.1%	4	36.4%	2	18.2%	4	36.4%	
70歳～74歳	1	9.1%	8	72.7%	2	18.2%	6	54.5%	2	18.2%	5	45.5%	
全体	4	11.4%	30	85.7%	9	25.7%	18	51.4%	7	20.0%	15	42.9%	
再掲	40歳～74歳	4	11.4%	30	85.7%	9	25.7%	18	51.4%	7	20.0%	15	42.9%
再掲	65歳～74歳	3	13.6%	17	77.3%	3	13.6%	10	45.5%	4	18.2%	9	40.9%

出典：国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年3月診療分)

### 3. 健康診査データによる分析

以下は、令和4年度健康診査データによる、検査項目別の有所見者の状況を示したものである。健診受診者全体では、HbA1cの有所見者割合が最も高く、健診受診者の76.0%を占めている。年齢階層別にみると、40歳～64歳ではHbA1c、65歳～74歳ではHbA1cの有所見者割合が最も高くなっている。

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)

区分		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸	
		25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	
岩沼市	40歳～64歳	人数(人)	207	236	140	125	30	1	384	0
		割合(%)	35.4%	40.4%	24.0%	21.4%	5.1%	0.2%	65.8%	0.0%
	65歳～74歳	人数(人)	563	730	395	212	61	73	1,441	9
		割合(%)	31.0%	40.2%	21.8%	11.7%	3.4%	4.0%	79.4%	0.5%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	770	966	535	337	91	74	1,825	9
		割合(%)	32.1%	40.3%	22.3%	14.0%	3.8%	3.1%	76.0%	0.4%
県		割合(%)	30.8%	37.9%	22.1%	15.0%	4.3%	6.1%	74.4%	6.1%
国		割合(%)	27.1%	34.9%	21.1%	14.5%	3.9%	24.8%	57.1%	6.5%

区分		収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR	
		130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満	
岩沼市	40歳～64歳	人数(人)	207	157	283	4	12	55	4	93
		割合(%)	35.4%	26.9%	48.5%	0.7%	2.1%	9.4%	0.7%	15.9%
	65歳～74歳	人数(人)	976	457	904	22	89	314	20	534
		割合(%)	53.7%	25.2%	49.8%	1.2%	4.9%	17.3%	1.1%	29.4%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	1,183	614	1,187	26	101	369	24	627
		割合(%)	49.3%	25.6%	49.5%	1.1%	4.2%	15.4%	1.0%	26.1%
県		割合(%)	47.7%	21.4%	47.8%	1.2%	18.5%	42.2%	0.6%	21.1%
国		割合(%)	47.5%	21.1%	50.3%	1.3%	21.0%	18.1%	5.5%	20.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診有所見者状況(男女別・年代別)」

以下は、令和4年度健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。健診受診者全体では、予備群は12.8%、該当者は24.5%である。また、血糖、血圧、脂質の3項目全ての追加リスクを持っている該当者は10.1%である。

### メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

年齢階層	健診受診者		腹囲のみ		予備群		血糖		血圧		脂質	
	人数(人)	割合(%)										
40歳～64歳	584	31.0%	32	5.5%	87	14.9%	5	0.9%	58	9.9%	24	4.1%
65歳～74歳	1,816	45.8%	39	2.1%	219	12.1%	21	1.2%	171	9.4%	27	1.5%
全体(40歳～74歳)	2,400	41.0%	71	3.0%	306	12.8%	26	1.1%	229	9.5%	51	2.1%

年齢階層	該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
	人数(人)	割合(%)								
40歳～64歳	117	20.0%	19	3.3%	12	2.1%	44	7.5%	42	7.2%
65歳～74歳	472	26.0%	91	5.0%	32	1.8%	149	8.2%	200	11.0%
全体(40歳～74歳)	589	24.5%	110	4.6%	44	1.8%	193	8.0%	242	10.1%

出典:国保データベース(KDB)システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

### ※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②血圧 ③脂質)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

以下は、令和4年度健康診査データにおける質問票調査の状況について、年齢階層別に示したものである。

### 質問票調査の状況(令和4年度)

分類	質問項目	40歳～64歳				65歳～74歳			
		岩沼市	県	同規模	国	岩沼市	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	21.1%	22.4%	22.3%	19.3%	42.6%	46.2%	45.4%	43.7%
	服薬_糖尿病	6.3%	6.0%	6.1%	5.0%	9.3%	11.8%	11.4%	10.4%
	服薬_脂質異常症	18.3%	17.4%	17.2%	15.3%	28.2%	35.5%	33.7%	34.0%
既往歴	既往歴_脳卒中	2.6%	2.0%	1.9%	1.8%	3.4%	3.6%	3.8%	3.8%
	既往歴_心臓病	4.6%	3.7%	3.2%	2.9%	8.1%	8.1%	6.9%	6.8%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	0.5%	0.6%	0.7%	0.6%	1.4%	1.0%	1.0%	0.9%
	既往歴_貧血	16.1%	16.5%	12.9%	13.5%	11.7%	10.6%	8.9%	9.3%
喫煙	喫煙	19.7%	22.0%	19.3%	20.8%	11.0%	11.2%	10.5%	10.4%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	40.3%	38.5%	38.8%	38.2%	35.3%	34.4%	33.2%	33.4%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	68.4%	70.8%	71.2%	69.7%	57.1%	59.0%	59.5%	55.8%
	1日1時間以上運動なし	39.6%	47.4%	48.1%	49.9%	41.0%	45.1%	46.9%	47.0%
	歩行速度遅い	54.9%	57.3%	57.1%	53.5%	51.7%	54.3%	53.4%	49.5%
食事	食べる速度が速い	31.0%	29.0%	31.4%	31.2%	26.5%	22.9%	25.1%	24.6%
	食べる速度が普通	61.9%	63.3%	60.9%	60.9%	66.3%	69.3%	66.6%	67.6%
	食べる速度が遅い	7.0%	7.7%	7.7%	7.8%	7.1%	7.7%	8.3%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	18.0%	19.3%	19.7%	22.7%	12.6%	13.3%	13.2%	12.3%
	週3回以上朝食を抜く	16.6%	16.9%	15.6%	19.4%	3.8%	4.9%	5.0%	5.9%
飲酒	毎日飲酒	22.0%	25.4%	25.2%	26.3%	23.8%	25.1%	25.5%	25.1%
	時々飲酒	26.6%	25.5%	23.6%	25.4%	21.1%	22.4%	19.3%	21.1%
	飲まない	51.5%	49.1%	51.2%	48.2%	55.1%	52.4%	55.2%	53.9%
	1日飲酒量(1合未満)	53.5%	57.0%	58.1%	58.3%	55.1%	60.9%	64.7%	67.2%
	1日飲酒量(1～2合)	31.6%	24.9%	25.1%	24.4%	33.1%	27.3%	25.1%	23.4%
	1日飲酒量(2～3合)	11.2%	13.6%	12.2%	12.1%	9.9%	10.3%	8.5%	7.9%
	1日飲酒量(3合以上)	3.7%	4.5%	4.6%	5.2%	2.0%	1.5%	1.7%	1.5%
睡眠	睡眠不足	30.2%	30.5%	27.9%	29.5%	22.2%	24.7%	23.9%	23.6%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	23.1%	23.9%	26.6%	23.8%	22.3%	28.5%	31.9%	29.5%
	改善意欲あり	36.8%	31.3%	33.1%	33.7%	27.2%	23.5%	27.0%	26.1%
	改善意欲ありかつ始めている	12.8%	14.6%	14.0%	16.0%	13.2%	12.9%	11.5%	12.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	9.2%	11.1%	9.4%	9.8%	9.4%	9.2%	8.0%	8.5%
	取り組み済み6ヶ月以上	18.0%	19.2%	17.0%	16.8%	27.8%	25.9%	21.5%	22.9%
	保健指導利用しない	51.4%	68.0%	67.9%	63.9%	53.8%	66.0%	65.3%	63.0%
咀嚼	咀嚼_何でも	81.3%	81.9%	82.7%	83.9%	71.1%	75.7%	74.7%	77.0%
	咀嚼_かみにくい	18.2%	17.5%	16.5%	15.4%	27.9%	23.5%	24.4%	22.2%
	咀嚼_ほとんどかめない	0.5%	0.6%	0.8%	0.7%	1.0%	0.8%	1.0%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	24.5%	22.0%	24.5%	23.4%	16.8%	18.8%	21.0%	20.7%
	3食以外間食_時々	56.3%	56.4%	55.6%	55.2%	60.8%	60.5%	58.8%	58.4%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	19.2%	21.6%	19.9%	21.4%	22.4%	20.8%	20.2%	20.9%

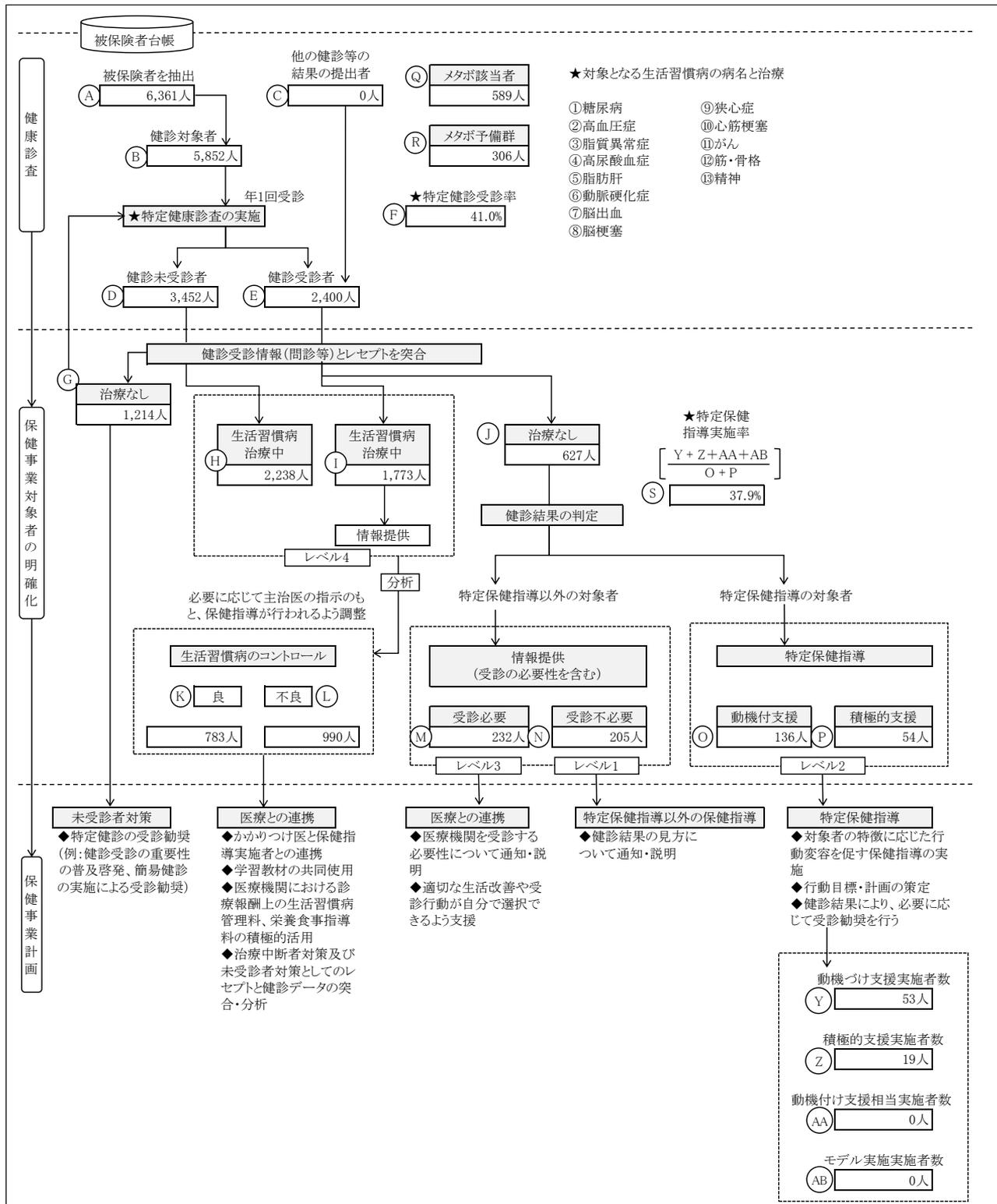
分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		岩沼市	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	37.4%	39.2%	39.2%	35.6%
	服薬_糖尿病	8.6%	10.1%	9.9%	8.7%
	服薬_脂質異常症	25.8%	30.2%	29.2%	27.9%
既往歴	既往歴_脳卒中	3.2%	3.2%	3.3%	3.1%
	既往歴_心臓病	7.3%	6.8%	5.9%	5.5%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	1.2%	0.8%	0.9%	0.8%
	既往歴_貧血	12.8%	12.3%	10.0%	10.7%
喫煙	喫煙	13.1%	14.4%	12.9%	13.8%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	36.5%	35.6%	34.7%	35.0%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	59.8%	62.4%	62.7%	60.4%
	1日1時間以上運動なし	40.6%	45.8%	47.2%	48.0%
	歩行速度遅い	52.5%	55.2%	54.4%	50.8%
食事	食べる速度が速い	27.6%	24.7%	26.8%	26.8%
	食べる速度が普通	65.2%	67.6%	65.1%	65.4%
	食べる速度が遅い	7.1%	7.7%	8.2%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	13.9%	15.1%	15.0%	15.7%
	週3回以上朝食を抜く	6.9%	8.4%	7.9%	10.4%
飲酒	毎日飲酒	23.4%	25.2%	25.4%	25.5%
	時々飲酒	22.4%	23.3%	20.5%	22.5%
	飲まない	54.2%	51.4%	54.1%	52.0%
	1日飲酒量(1合未満)	54.7%	59.7%	62.8%	64.1%
	1日飲酒量(1～2合)	32.7%	26.6%	25.1%	23.7%
	1日飲酒量(2～3合)	10.2%	11.3%	9.5%	9.4%
	1日飲酒量(3合以上)	2.4%	2.4%	2.5%	2.8%
睡眠	睡眠不足	24.2%	26.4%	25.0%	25.6%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	22.5%	27.1%	30.5%	27.6%
	改善意欲あり	29.6%	25.8%	28.7%	28.6%
	改善意欲ありかつ始めている	13.1%	13.4%	12.2%	13.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	9.4%	9.8%	8.4%	9.0%
	取り組み済み6ヶ月以上	25.4%	23.9%	20.3%	20.9%
	保健指導利用しない	53.2%	66.6%	66.0%	63.3%
咀嚼	咀嚼_何でも	73.6%	77.5%	76.8%	79.3%
	咀嚼_かみにくい	25.5%	21.8%	22.2%	19.9%
	咀嚼_ほとんどかめない	0.9%	0.7%	0.9%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	18.7%	19.7%	21.9%	21.6%
	3食以外間食_時々	59.7%	59.3%	57.9%	57.3%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	21.6%	21.0%	20.1%	21.0%

出典：国保データベース (KDB) システム「質問票調査の状況」

# 4. 被保険者の階層化

以下は、令和4年度における健康診査データ及びレセプトデータから被保険者を階層化した結果を示したものである。

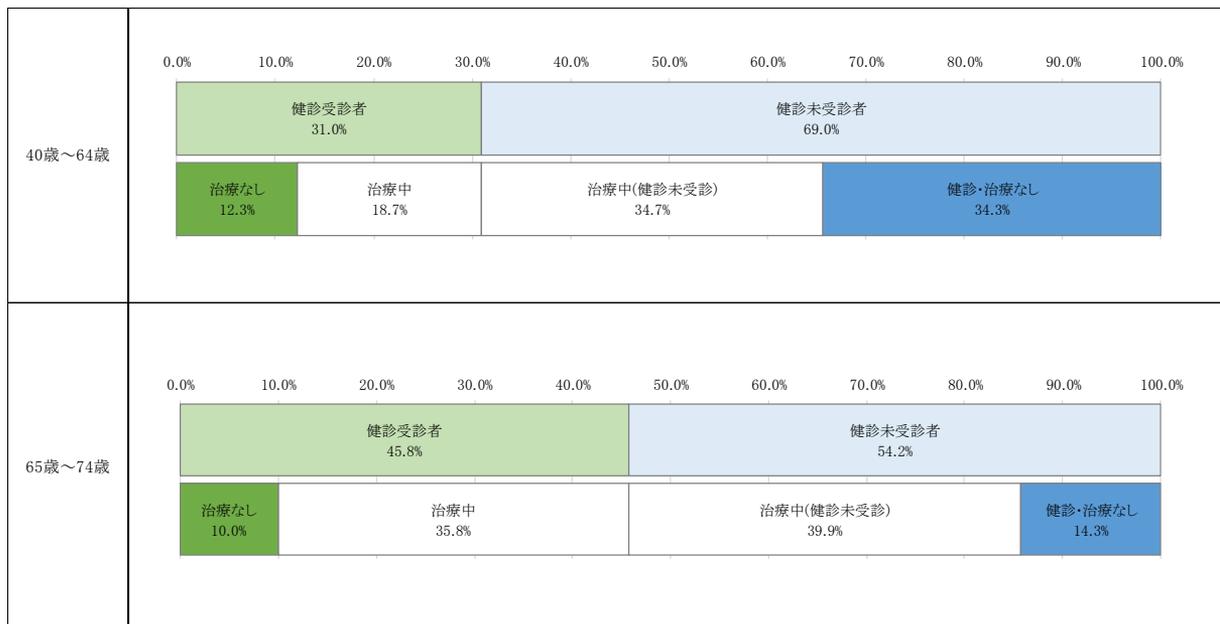
## 被保険者の階層化(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」

以下は、令和4年度における40歳以上の特定健診対象者について、健診受診状況別に生活習慣病の治療状況を示したものである。

### 特定健診対象者の生活習慣病治療状況(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」  
 ※「治療中」…特定健診対象者のうち、生活習慣病のレセプトを持つ患者を対象として集計。

# 第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

## 1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

以下は、分析結果から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す姿(目的)、その目的を達成するための目標を示したものである。

### 計画の目指す姿

生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図る。

項目	健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号	データヘルス計画全体における目的
A	<b>生活習慣病</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。</li> <li>医療費及び患者数上位において、生活習慣に関係する疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。</li> <li>透析患者のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から透析に至った患者が最も多い。</li> </ul>	1	①、②、③	<b>生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防</b> <p>レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受診や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。</p>
B	<b>悪性新生物</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主たる死因の第1位であり、死因の50%を占めている。</li> <li>疾病別医療費において最も高い割合を占めている。</li> </ul>	2	④	<b>がんの早期発見・早期治療</b> <p>がん検診の受診率及び精密検査受診率の向上を図り、がんの早期発見や早期治療につなげることで、将来的な医療費の削減につなげる。</p>
C	<b>医療費、受診行動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の使用割合は85.3%である。</li> <li>受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。</li> <li>薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される長期多剤服薬者が存在する。</li> </ul>	3	⑤、⑥	<b>医療費適正化と適正受診・適正服薬</b> <p>後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。</p>

個別の保健事業については「2. 健康課題を解決するための個別の保健事業」に記載

## 評価指標のまとめ

	評価指標	基準値	目標値	
			R8 (中間評価)	R11 (最終評価)
計画全体	健康寿命の延伸	男性(H25とR2の比較) 平均寿命の差: 1.70 健康寿命の差: 1.79 女性(H25とR2の比較) 平均寿命の差: -0.59 健康寿命の差: -0.17	平均寿命の増加を上 回る健康寿命の増加	平均寿命の増加を上 回る健康寿命の増加
	一人当たりの医療費	329,964円	増加率10%以内	増加率10%以内

評価指標	基準値	目標値	
		R8 (中間評価)	R11 (最終評価)
特定健康診査受診率	37.7%	47%	50%
特定保健指導実施率	40.2% (R4法定報告)	43%	45%
新規人工透析患者数	8名(R4)	5名	5名
HbA1c7.0%以上の未治療者の割合	0.8%(R4) (22名)	0.5% (約15名)	0.3% (約10名)
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	該当者24.8% 予備群12.6% (R4法定報告)	該当者22.5% 予備群11.0%	該当者20.0% 予備群10.0%
がんの医療費	518,894千円	減少	減少
後発医薬品普及率 (数量ベース)	85.2%	86%	86%
重複・多剤服薬者の割合	重複服薬者:1.6% 多剤服薬者:8.5% (R4)	重複服薬者:減少 多剤服薬者:減少	重複服薬者:減少 多剤服薬者:減少

## 2. 健康課題を解決するための個別の保健事業

### (1) 保健事業一覧

以下は、分析結果に基づく健康課題に対する対策の検討結果を踏まえ、第3期データヘルス計画にて実施する事業一覧を示したものである。

事業番号	事業名称	事業概要	区分	重点・優先度
A-①	特定健康診査受診率向上事業	過年度における特定健康診査の受診情報等を分析し、効果的な受診勧奨を実施する。	継続	2
A-②	特定保健指導利用勧奨事業	特定健診の結果から、特定保健指導対象者を抽出し、生活習慣や検査値が改善されるよう専門職による支援(面談、電話、手紙等)を実施する。	継続	3
A-③	糖尿病性腎症重症化予防事業	医療機関受診状況や特定健康診査の結果から、リスクが高い者等を抽出し、受診勧奨や保健指導、糖尿病に対する正しい知識の普及啓発等を実施する。	継続	1
B-④	がん対策事業	過年度における各種がん検診の受診情報等を分析し、効果的な受診勧奨を実施する。	新規	4
C-⑤	ジェネリック医薬品利用推進事業	現在使用している先発医薬品から後発医薬品に切り替えることで、一定額以上の自己負担額の軽減が見込まれる被保険者に対し、自己負担額の差額等を通知する。	継続	6
C-⑥	適正服薬促進事業	多くの種類の薬剤を服用している者に対し、適切な服薬を促すことを目的とした通知及び訪問・指導を実施する。	継続	5

## (2) 各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりである。

### 事業番号：A-① 特定健康診査受診率向上事業【継続】

事業の目的	特定健康診査の受診率向上
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査対象者のうち、受診勧奨することで受診率向上が期待できる者</li> <li>・ 次年度に特定健康診査の対象となる39歳の被保険者</li> </ul>
現在までの事業結果	令和元年度までは、受診率は40%台後半で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年度に大幅に落ち込んだ。その後、未受診者等への受診勧奨を再開し、受診率は回復傾向にある。

#### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	特定健康診査受診率(全体)	43.8%	47%	50%
	特定健康診査受診率(40-50歳代)	28.5%	31%	33%
	受診勧奨対象者の受診率	9.77%	11%	12%
アウトプット(実施量・率)指標	特定健康診査対象者に対する受診票送付	100%	100%	100%
	特定健康診査未受診者に対する受診勧奨実施割合	100%	100%	100%

目標を達成するための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団健診(市内公共施設等)及び個別健診(地元医療機関)の実施、平日夜間や土日の健診開催、がん検診との同時実施等による受診しやすい環境整備</li> <li>・ 特定健康診査受診者に対し、がん検診で使用できる助成券を配付</li> <li>・ 市独自の検査項目として、特定健康診査対象者全員に貧血検査、50歳男性に前立腺がん検査を実施</li> <li>・ 過去の受診状況等に基づく未受診者に対する追加健診の実施及びはがきによる受診勧奨</li> <li>・ 人間ドックの受診結果提供を条件に費用の一部を助成</li> <li>・ 新たな独自検査項目の導入検討</li> <li>・ 40歳未満への啓発</li> </ul>
----------------	--

#### 実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査対象者への適切な受診勧奨</li> <li>・ 受診勧奨対象者の把握</li> </ul>
--

#### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>・ 予算の確保</li> </ul>
--

#### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 事業番号：A-② 特定保健指導利用勧奨事業【継続】

事業の目的	特定保健指導の実施率向上
対象者	特定健康診査の結果、特定保健指導判定値に該当する者
現在までの事業結果	健診時面談の実施、面談対象者の基準変更等の取り組みにより、実施率は年々上昇しているが、国が定める目標60%とは乖離している。

### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	22.7%	23.5%	25%
	指導終了者のうち腹囲・体重の改善率	体重:44.1% 腹囲:49.7%	55%	60%
アウトプット(実施量・率)指標	特定保健指導実施率	40.2%	43%	45%

目標を達成するための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診会場にて特定保健指導の該当可能性のある者へ面談を実施（利用の流れや利用啓発）</li> <li>・地域の身近な会場にて実施し、健診結果を手渡し</li> <li>・個別案内通知のほか、電話による利用勧奨</li> <li>・休日や夜間、オンラインの実施</li> <li>・集団指導と個別指導の選択制</li> <li>・血糖測定会の開催</li> <li>・取り組み効果を客観的にみられるよう、血圧・体重・腹囲測定のほか、体組成計や活動量計を活用</li> </ul>
----------------	---

### 実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診当日の初回面談の分割実施</li> </ul>
---

### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>・予算の確保</li> </ul>
--

### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 事業番号：A-③ 糖尿病性腎症重症化予防事業【継続】

事業の目的	腎不全及び人工透析患者の減少
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診で下記のいずれかに該当する受診勧奨域の未治療者             <ul style="list-style-type: none"> <li>①HbA1c6.5%以上</li> <li>②収縮期血圧160mmHg 以上または拡張期血圧100mmHg以上</li> <li>③eGFR45未満または尿蛋白(+)以上またはeGFR45～60未満かつ尿蛋白(±)</li> </ul> </li> <li>・ 糖尿病治療中断者</li> <li>・ 39歳以下のHbA1c5.6～6.4%</li> </ul>
現在までの事業結果	特定健康診査の結果、HbA1cの有所見者の割合が男女ともに7割を超えており、年齢が上がるにつれ有所見率も高くなっている。糖尿病治療中にもかかわらずHbA1c8.0%以上のコントロール不良者もあり、医療機関と連携した介入も必要である。また、新規透析患者は社会保険からの異動が半数を占めている。

### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	受診勧奨者の医療機関受診率	59.9%	65%	70%
	受診勧奨者の検査値の改善率 (健診結果改善者/健診受診者)	49.1%	55%	60%
	特定健康診査受診者のうち、HbA1c7.0%以上の未治療者の割合	0.8%	0.5%	0.3%
アウトプット (実施量・率)指標	対象者への受診勧奨率	100%	100%	100%

目標を達成するための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診勧奨域の方へ受診勧奨通知を発送し、医療機関への受診を促す。また、未受診者に対し、電話や訪問等(検査値によって優先順位を決める)で受診勧奨を行う。</li> <li>・ 39歳以下のHbA1c5.6～6.4%へ糖尿病のリーフレットと生活習慣改善を促す通知を発送。必要時保健指導を行う。</li> <li>・ 糖尿病治療中断者リスト、レセプト情報等から対象者を絞り、通知や訪問等で受診勧奨を行う。</li> </ul>
----------------	--

### 実施方法(プロセス)

事業の進捗管理を行うためのスケジュール表の作成
-------------------------

### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>・ 予算の確保</li> </ul>
--

### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 事業番号：B-④ がん対策事業【新規】

事業の目的	がんの早期発見及び早期治療のため、がん検診の受診率及び精密検査受診率を向上させる。
対象者	肺がん検診:40歳以上 乳がん検診:35歳以上
現在までの事業結果	国民健康保険被保険者を含む市民全員を対象として実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年度に大幅に落ち込んだ。その後、未受診者等への受診勧奨を再開し、受診率は回復傾向にある。

### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	精密検査受診率	肺がん検診: 83.6% 乳がん検診: 98.5%	肺がん検診: 87% 乳がん検診: 100%	肺がん検診: 90% 乳がん検診: 100%
アウトプット(実施量・率)指標	がん検診受診率	肺がん検診: 25.2% 乳がん検診: 36.7%	肺がん検診: 32.5% 乳がん検診: 43%	肺がん検診: 35% 乳がん検診: 45%

目標を達成するための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団検診の実施</li> <li>・特定健診との同時実施（肺がん検診のみ）</li> <li>・特定健診受診者へのがん検診助成券の配付</li> <li>・未受診者に対する追加検診の実施</li> <li>・未申込者に対する受診案内通知</li> <li>・精密検査該当者への説明会の実施及び電話による受診勧奨</li> </ul>
----------------	--

### 実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な受診勧奨</li> <li>・精度管理の有無</li> </ul>
--

### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>・予算の確保</li> </ul>
--

### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 事業番号：C-⑤ ジェネリック医薬品利用推進事業【継続】

事業の目的	ジェネリック医薬品普及率の向上
対象者	35歳以上の被保険者で、現在使用している先発医薬品から後発医薬品に切り替えることで、一定額以上の自己負担額の軽減が見込まれる者
現在までの事業結果	ジェネリック医薬品差額通知等により、ジェネリック医薬品の利用促進に取り組んでおり、令和4年度では85.3%と国の目標値を上回っている。

### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	85.3%	86%	86%
	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	46.7%	48%	50%
アウトプット(実施量・率)指標	事業対象者に対する通知割合	100%	100%	100%

目標を達成するための主な取組	・レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を郵送する。
----------------	--

### 実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知対象者の設定</li> <li>・ジェネリック医薬品の使用状況の分析</li> </ul>
---

### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>・予算の確保</li> </ul>
--

### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 事業番号：C-⑥ 適正服薬促進事業【継続】

事業の目的	多くの種類の薬剤が処方されている者等に対し、適切な服薬を促す。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の医療機関から同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を処方されている者</li> <li>同一月内に多くの種類の薬剤を処方を受けている者</li> </ul>
現在までの事業結果	岩沼市医師会及び岩沼薬剤師会の協力を得て、多くの種類の薬剤を長期で服用している者に対し、適切な服薬を促すことを目的とした通知書発送及び訪問指導等を実施している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年度以降、重複・多剤投与者が増加している。

### 今後の目標

指標	評価指標	基準値	目標値	
		2022年度 (R4)	2026年度 (R8)	2029年度 (R11)
アウトカム(成果)指標	重複処方該当者の割合	1.6%	減少	減少
	多剤処方該当者の割合	8.5%	減少	減少
	指導後の改善割合	50%	50%	50%
アウトプット(実施量・率)指標	事業対象者に対する通知割合	100%	100%	100%

目標を達成するための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>レセプト情報等を分析し、抽出した対象者に対して服薬情報を通知する。</li> <li>保健師による電話又は訪問指導を実施し、服薬状況の確認や情報提供等を行う。</li> <li>市役所窓口、市内薬局等でお薬バッグの配布</li> <li>広報やホームページ等での周知啓発</li> </ul>
----------------	---

### 実施方法(プロセス)

<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の抽出基準の検討</li> <li>指導後の効果検証</li> </ul>
---

### 実施体制(ストラクチャー)

<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内外の関係部署(機関)等との連携</li> <li>予算の確保</li> </ul>
--

### 実施期間

令和6年度～令和11年度
--------------

## 1. 計画の評価及び見直し

### (1) 個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認する。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させる。

### (2) データヘルス計画全体の評価・見直し

#### ① 評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11年度上半期に仮評価を行う。

#### ② 評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行う。また、評価に当たっては、外部機関等と連携して行うなど、他保険者との連携・協力体制の整備に努める。

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。

## 3. 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとする。

## 4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項

令和2年4月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格施行となり、被保険者一人一人の暮らしを地域全体で支える地域共生社会の体制の構築・実現を目指す、地域包括ケアシステムの充実・強化が推進されている。地域包括ケアとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように支援する仕組み(システム)のことである。地域包括ケアシステムの充実に向けて、下記の取り組みを実施する。

### ① 地域で被保険者を支える連携の促進

- ・医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援などについての議論の場に国保保険者として参加し、地域の課題を共有し、対応策を検討するとともに、地域支援事業に国保部局として参画

### ② 課題を抱える被保険者層の分析と、地域で被保険者を支える事業の実施

- ・レセプトデータ、介護データ等を活用して前期高齢者等のハイリスク群・予備群等を抽出し、当該ターゲット層に対する支援や介護予防を目的とした健康教室等のプログラムの実施

### ③ 国民健康保険診療施設の施設・人材の活用

- ・医療提供における役割だけではなく、地域で必要とされている保健事業、訪問診療、介護サービス、生活支援等の一体的・総合的な提供の場として活用

庁内各部門及び地域における多様な専門機関、事業者、団体等の関係機関との連携により、関係者間で包括的に地域の実態把握・課題分析を共有し、地域が一体となって取り組みを推進する。